

II 感染症発生状況

- 1 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症発生状況－保健所・年齢群別－
- 2 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症発生状況－病型・感染経路等－
- 3 五類感染症(定点)発生状況
 - ◆週報
 - インフルエンザ／COVID-19
 - 小児科
 - 眼科
 - 基幹
 - ◆月報
 - 性感染症
 - 基幹
- 4 病原体検査情報
- 5 疑似症サーベイランス

1 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症 発生状況 一保健所・年齢群別一

■令和6年累計 令和6年第1週～第52週(令和6年1月1日～令和6年12月29日)

令和7年(2025年)1月末集計

◆一類～四類感染症、五類感染症(全数)保健所別 (報告数:例)

類型	感 染 症 名	総 数	前 橋 市	高 崎 市	伊 勢 崎	洪 川	藤 岡	富 岡	吾 妻	利 根 沼 田	館 林	桐 生	太 田	安 中
二類	結核	207	55	16	29	26	9	0	2	8	22	21	11	8
三類	細菌性赤痢	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	170	24	10	68	11	2	2	5	7	10	9	18	4
四類	バラチフス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	E型肝炎	17	7	3	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0
	A型肝炎	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	つつが虫病	9	1	1	1	0	0	0	4	2	0	0	0	0
	デング熱	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	日本脳炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	マラリア	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	48	8	11	5	5	3	2	3	4	2	1	3	1
	レプトスピラ症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五類	アメーバ赤痢	8	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	ウイルス性肝炎	9	3	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	28	3	5	2	10	1	1	0	0	0	0	4	2
	急性脳炎	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	1	0
	クリプトスポリジウム症	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	34	17	5	2	0	1	0	0	2	0	5	2	0
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	15	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	23	7	6	2	2	1	2	0	2	0	0	1	0
	水痘(入院例)	5	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0
梅毒	201	60	41	38	8	4	2	0	8	6	9	25	0	
破傷風	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
百日咳	34	9	11	6	0	0	5	1	0	0	1	1	0	
計		832	210	110	164	70	22	15	15	33	41	49	73	15

★表以外の感染症については報告されていません。

※後天性免疫不全症候群については、届出保健所を記載していません。

◆一類～四類感染症、五類感染症(全数)年齢群別

(報告数:例)

類型	感 染 症 名	総 数	1 歳 未 満	1 歳 4 月	5 歳 9 月	10 歳 14 月	15 歳 19 月	20 歳 24 月	25 歳 29 月	30 歳 34 月	35 歳 39 月	40 歳 44 月	45 歳 49 月	50 歳 54 月	55 歳 59 月	60 歳 64 月	65 歳 69 月	70 歳 以 上	
二類	結核	207	9	0	0	0	2	18	17	15	8	12	3	12	10	12	4	85	
三類	細菌性赤痢	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	170	1	37	8	7	3	20	11	10	11	8	6	10	8	11	2	17	
四類	バラチフス	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	E型肝炎	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	4	1	2	4	
	A型肝炎	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	つつが虫病	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	7	
	デング熱	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	日本紅斑熱	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	日本脳炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	マラリア	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	48	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	6	9	4	25	
	レプトスピラ症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
五類	アメーバ赤痢	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	1	0	1	
	ウイルス性肝炎	9	0	0	0	0	1	3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	28	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	25	
	急性脳炎	4	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	34	0	0	0	0	0	1	1	1	1	3	1	1	0	3	3	19	
	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	15	0	0	0	0	0	2	4	3	2	1	1	0	0	2	0	0	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	23	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	15	
	水痘(入院例)	5	0	1	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	201	0	0	0	0	6	31	33	24	13	24	22	18	10	7	6	7	
	破傷風	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
百日咳	34	2	1	4	4	5	2	5	1	1	3	1	0	4	0	1	0		
計		832	13	44	15	14	22	79	74	56	37	56	40	50	45	48	24	215	

★年齢については診断日の年齢になります。

◆動物の感染症(獣医師による届出)

感 染 症 名	総 数	前 橋 市	高 崎 市	伊 勢 崎	洪 川	藤 岡	富 岡	吾 妻	利 根 沼 田	館 林	桐 生	太 田	安 中
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

2 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、動物の感染症 発生状況 一病型・感染経路等一

(1) 一類感染症

・届出はありませんでした。

(2) 二類感染症

・結核 207例

【保健所別累計】

(報告数:例)

感染症名(病型)	合計	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中
結核	207	55	16	29	26	9	0	2	8	22	21	11	8
肺結核	88	17	6	15	13	4	0	1	7	9	9	3	4
肺結核及びその他の結核	12	4	0	1	3	0	0	0	0	2	1	1	0
その他の結核	35	11	4	4	5	1	0	0	0	3	4	2	1
潜在性結核感染症	72	23	6	9	5	4	0	1	1	8	7	5	3

【年齢群別累計】

(報告数:例)

感染症名(病型)	合計	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~89	90歳~
結核	207	9	0	0	2	35	23	15	22	16	27	45	13
肺結核	88	0	0	0	2	17	4	6	8	4	9	32	6
肺結核及びその他の結核	12	0	0	0	0	2	3	0	0	2	1	3	1
その他の結核	35	0	0	0	0	4	6	3	3	5	5	6	3
潜在性結核感染症	72	9	0	0	0	12	10	6	11	5	12	4	3

※病型の無症状病原体保有者を潜在性結核感染症と読み替えています。

- ・推定される感染地域は、国内127例、国外35例、国内または国外5例、不明40例でした。
- ・国外の地域は、フィリピン10例、インドネシア8例、ベトナム6例、ミャンマー6例、ネパール2例、バングラデシュ2例、アメリカ合衆国1例、カンボジア1例、コロンビア1例、台湾1例、ブラジル1例、ペルー1例でした。

(3) 三類感染症

・細菌性赤痢 1例

・推定される感染地域は、県内でした。

・腸管出血性大腸菌感染症 170例

【O型別累計】

(報告数:例)

O血清型	合計	VT1	VT2	VT1VT2	O血清型	合計	VT1	VT2	VT1VT2	O血清型	合計	VT1	VT2	VT1VT2	VT型不明
O26	54	54			O113	2		2		O121	1		1		
O157	49		23	26	O145	2		2		O136	1		1		
O91	15	13		2	O174	2	1	1		O156	1	1			
O103	6	5		1	O2	1		1		O179	1		1		
O128	4	1		3	O45	1	1			O181	1		1		
O111	3	1		2	O55	1	1			O182	1	1			
O15	2	1	1		O77	1			1	O186	1	1			
O38	2	1	1		O84	1	1			その他	6	1	3	2	
O76	2	1		1	O98	1		1		不明	5	1		3	1
O105	2		2		O115	1	1								

- ・類型は、患者90例、無症状病原体保有者80例でした。
- ・溶血性尿毒症症候群(HUS)発症例の報告はありませんでした。
- ・年間を通して届出があり、8月(35例)が最も多く、次いで9月(28例)でした。

・パラチフス 1例

・推定される感染地域は、パキスタンでした。

(4) 四類感染症

・ E型肝炎 17例

・推定される感染原因(経路)は、経口感染6例、不明11例でした。

・ A型肝炎 4例

・推定される感染原因(経路)は、経口感染3例、不明1例でした。

・ つつが虫病 9例

・推定される感染地域は、すべて県内でした。

・県内の地域は、伊勢崎市1例、渋川市1例、沼田市1例、利根郡1例、不明5例でした。

・ デング熱 2例

・推定される感染地域は、インドネシア1例、フィリピン1例でした。

・ 日本紅斑熱 1例

・推定される感染地域は、県内でした。

・ 日本脳炎 1例

・推定される感染地域は、県内でした。

・ マラリア 1例

・推定される感染地域は、パキスタンでした。

・ レジオネラ症 48例

・病型は、肺炎型46例、ポンティアック熱型2例でした。

・推定される感染原因(経路)は、水系感染8例、塵埃感染5例、水系・塵埃感染1例、不明34例でした。

・ レプトスピラ症 1例

・推定される感染原因(経路)は、動物からの感染(ネズミ)でした。

(5) 五類感染症(全数)

・アメーバ赤痢 8例

- ・病型は、すべて腸管アメーバ症でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触3例(異性間2例、同性間1例)、飲食物による経口感染1例、その他2例、不明2例でした。

・ウイルス性肝炎 9例

- ・原因ウイルスは、B型肝炎ウイルス4例、EBウイルス3例、C型肝炎ウイルス1例、サイトメガロウイルス1例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触2例(異性間1例、不明1例)、針等の鋭利なものの刺入による感染及び性的接触(不明)1例、不明6例でした。

・カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 28例

- ・検出された菌種は、*Klebsiella aerogenes* 9例、*Enterobacter cloacae* 6例、*Klebsiella pneumoniae* 5例、*Escherichia coli* 2例、*Citrobacter braakii* 1例、*Citrobacter freundii* 1例、*Enterobacter asburiae* 1例、*Enterobacter cloacae* complex 1例、*Morganella morganii* 1例、*Serratia marcescens* 1例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、以前からの保菌14例、院内感染及び医療器具関連感染1例、不明13例でした。

・急性脳炎 4例

- ・推定される病原体は、インフルエンザウイルス2例、不明2例でした。

・クリプトスポリジウム症 1例

- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触(同性間)でした。推定される感染地域は、県内でした。

・クロイツフェルト・ヤコブ病 1例

- ・病型は、孤発性プリオン病(古典型クロイツフェルト・ヤコブ病)でした。

・劇症型溶血性レンサ球菌感染症 34例

- ・検出された菌の血清群は、A群25例、B群4例、G群4例、C群1例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、創傷感染19例、飛沫・飛沫核感染3例、その他3例、不明9例でした。

・後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む) 15例

- ・類型は、患者8例(AIDS5例、その他3例)、無症状病原体保有者7例でした。
- ・性別は、男性13例、女性2例でした。
- ・推定される感染原因(経路)は、性的接触12例(同性間6例、異性間4例、不明2例)、不明3例でした。

・侵襲性インフルエンザ菌感染症 3例

- ・病原体が検出された検体の種類は、血液及び痰2例、血液1例でした。
- ・ヒブワクチンの接種歴は、なし1例、不明2例でした。

・侵襲性肺炎球菌感染症 23例

- ・病原体が検出された検体の種類は、血液22例、血液及び痰1例でした。
- ・肺炎球菌ワクチンの接種歴は、あり5例、なし5例、不明13例でした。

・水痘(入院例) 5例

- ・病型は、すべて臨床診断例でした。
- ・水痘ワクチンの接種歴は、あり1例、なし3例、不明1例でした。

・ 梅毒 201例

- ・ 類型は、患者155例、無症状病原体保有者46例でした。患者の病型は、早期顕症梅毒Ⅰ期101例、早期顕症梅毒Ⅱ期50例、晩期顕症梅毒4例でした。
- ・ 性別は、男性132例、女性69例でした。
- ・ 推定される感染原因(経路)は、性的接触171例(異性間148例、同性間11例、不明12例)、母子感染1例、不明29例でした。
- ・ 詳細は50ページ参照。

・ 破傷風 2例

- ・ 診断方法は、全て臨床決定でした。
- ・ 推定される感染原因(経路)は、創傷感染1例、創傷感染及び針等の鋭利なものの刺入による感染1例でした。

・ バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

- ・ 届出のあった菌種は、*Enterococcus gallinarum*でした。

・ 百日咳 34例

- ・ 推定される感染地域は、県内16例、県内又は県外4例、都道府県不明6例、国外3例、不明5例でした。
- ・ 百日咳含有ワクチンの接種歴は、あり21例、なし1例、不明12例でした。

(6)動物の感染症(獣医師による届出)

・ 鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9) 2例

- ・ 亜型は全てH5N1でした。

3 五類感染症(定点)発生状況

◆週報 インフルエンザ／COVID-19

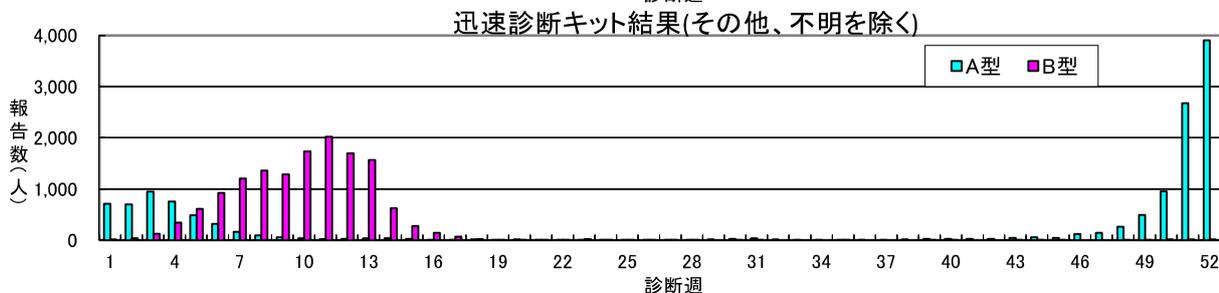
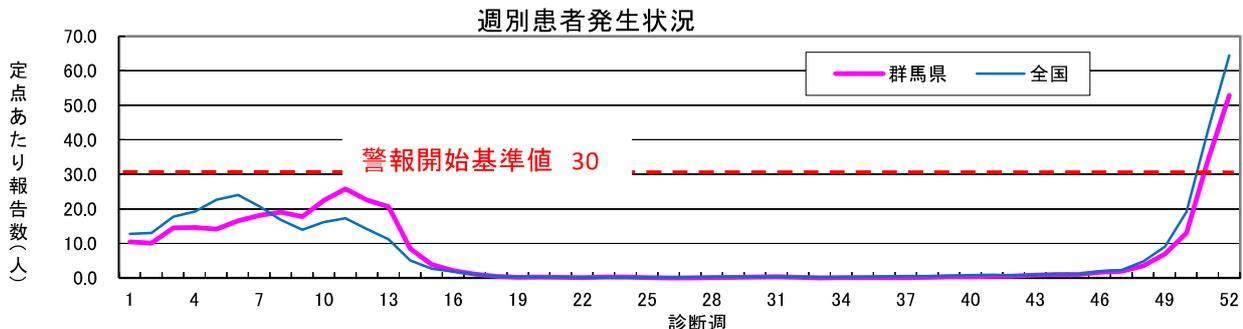
(1)インフルエンザ

定点からの年間報告数は30,702人(定点あたり363.59人)でした。[前年35,338人(定点あたり408.08人)]

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移し、第51週(12月下旬)に警報開始基準値を超え、第52週に報告数のピークとなりました。年齢群別では、10-14歳(25.6%)が最多で、次いで8歳(7.3%)、9歳(7.1%)でした。

保健所別の定点あたり報告数は、利根沼田(546.00人)が最多で、次いで富岡(524.36人)、伊勢崎(453.01人)でした。

定点からの迅速診断キット結果報告を集計したところ、A型が13,450人、B型が14,186人、その他・不明が3,064人でした。

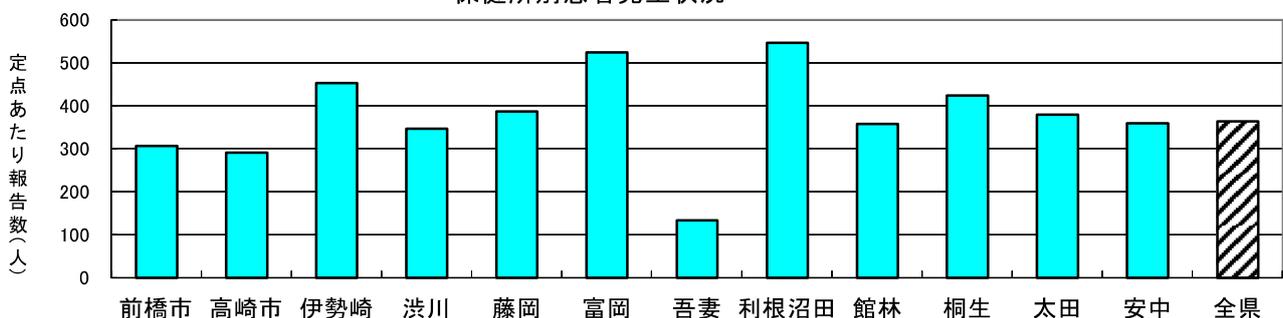


年齢群別患者発生状況 (報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	64	228	651	832	1,018	1,232	1,603	1,847	2,019	2,235	2,181
%	0.2	0.7	2.1	2.7	3.3	4.0	5.2	6.0	6.6	7.3	7.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
報告数	7,852	2,071	1,273	1,728	1,757	1,152	515	278	166	30,702
%	25.6	6.7	4.1	5.6	5.7	3.8	1.7	0.9	0.5	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況 (報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	3,970	4,053	4,504	2,081	1,153	1,563	399	1,638	3,127	3,373	3,777	1,064	30,702
定点あたり	306.29	290.70	453.01	346.83	386.81	524.36	133.00	546.00	357.37	423.66	379.16	359.27	363.59

(2) 新型コロナウイルス感染症

定点からの年間報告数は28,587人（定点あたり338.54人）でした。〔前年20,210人（定点あたり233.38人）※〕

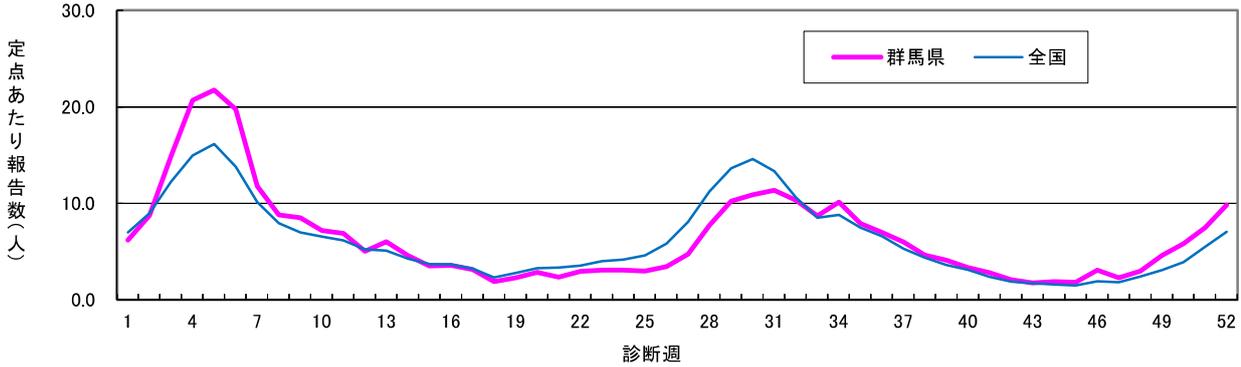
年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しました。

年齢群別では、50-59歳（13.0%）が最多で、次いで40-49歳（12.3%）、30-39歳（10.4%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、利根沼田（911.67人）が最多で、次いで渋川（442.00人）、前橋市（370.02人）でした。

※2023年第19週から五類感染症に移行したため、第19週から第52週までの集計値

週別患者発生状況



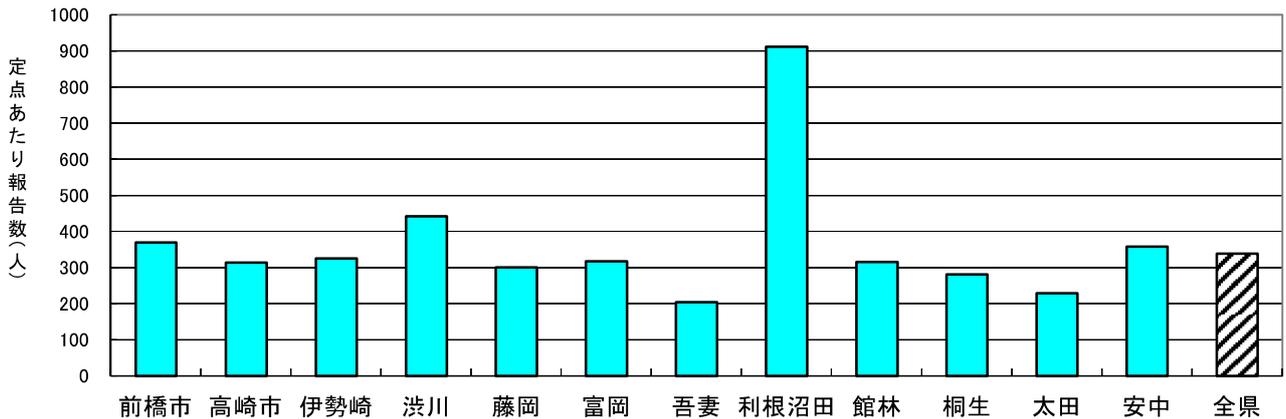
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	211	397	694	470	421	435	436	498	426	460	469
%	0.7	1.4	2.4	1.6	1.5	1.5	1.5	1.7	1.5	1.6	1.6

年齢群	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
報告数	2,729	2,004	2,878	2,977	3,527	3,705	2,351	2,022	1,477	28,587
%	9.5	7.0	10.1	10.4	12.3	13.0	8.2	7.1	5.2	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	4,796	4,379	3,236	2,652	897	946	610	2,735	2,757	2,235	2,286	1,058	28,587
定点あたり	370.02	314.08	325.48	442.00	300.93	317.37	203.33	911.67	315.09	280.72	229.48	357.25	338.54

◆週報 小児科

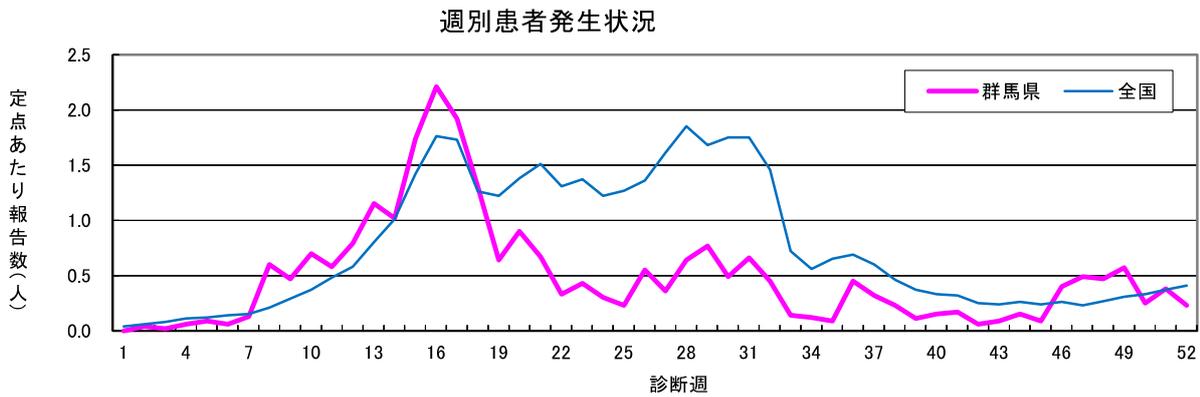
(1)RSウイルス感染症

定点からの年間報告数は1,332人（定点あたり25.28人）でした。[前年1,450人（定点あたり27.03人）]

第16週（4月中旬）に報告数のピークがあり、全国平均のピーク（第28週）に先行しました。

年齢群別では、1歳（38.1%）が最多で、次いで2歳（18.0%）、6～11ヶ月（12.8%）でした。

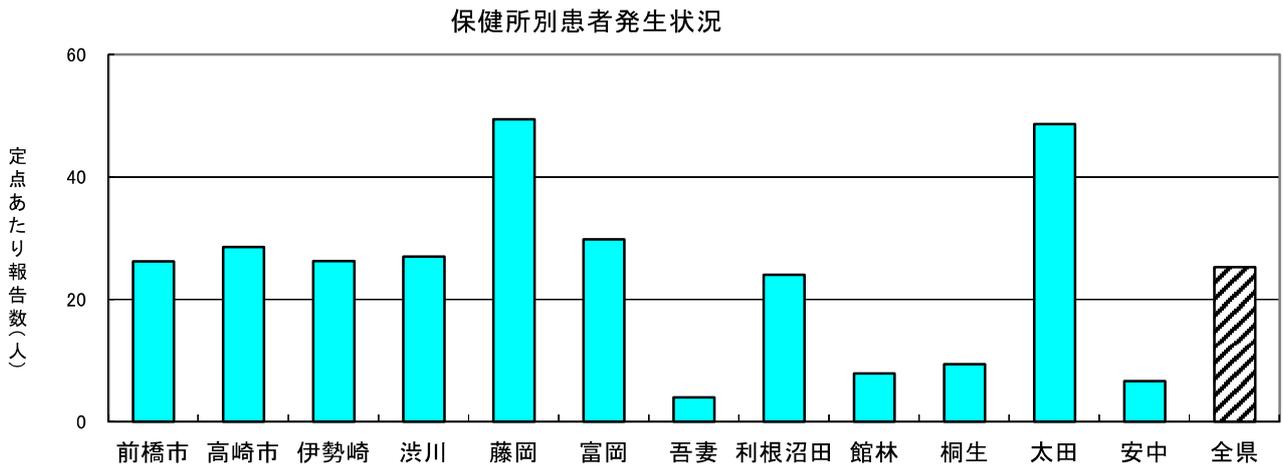
保健所別の定点あたり報告数は、藤岡（49.48人）が最多で、次いで太田（48.67人）、富岡（29.79人）でした。



年齢群別患者発生状況 (報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	156	171	507	240	148	59	26	12	3	5	2
%	11.7	12.8	38.1	18.0	11.1	4.4	2.0	0.9	0.2	0.4	0.2

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	3	-	-	1,332
%	0.2	-	-	100.0



保健所別患者発生状況 (報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	209	256	155	108	98	59	8	48	39	47	292	13	1,332
定点あたり	26.19	28.57	26.25	27.00	49.48	29.79	4.00	24.00	7.89	9.44	48.67	6.63	25.28

(2) 咽頭結膜熱

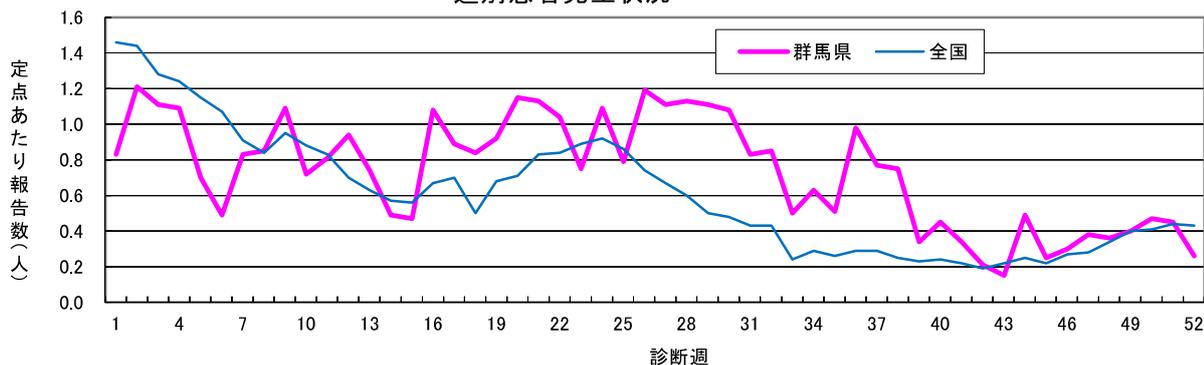
定点からの年間報告数は2,023人（定点あたり38.39人）でした。〔前年2,052人（定点あたり38.26人）〕

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しました。

年齢群別では、1歳（19.4%）が最多で、次いで2歳（13.6%）、4歳及び5歳（各12.8%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、富岡（133.28人）が最多で、次いで利根沼田（71.00人）、太田（62.33人）でした。

週別患者発生状況



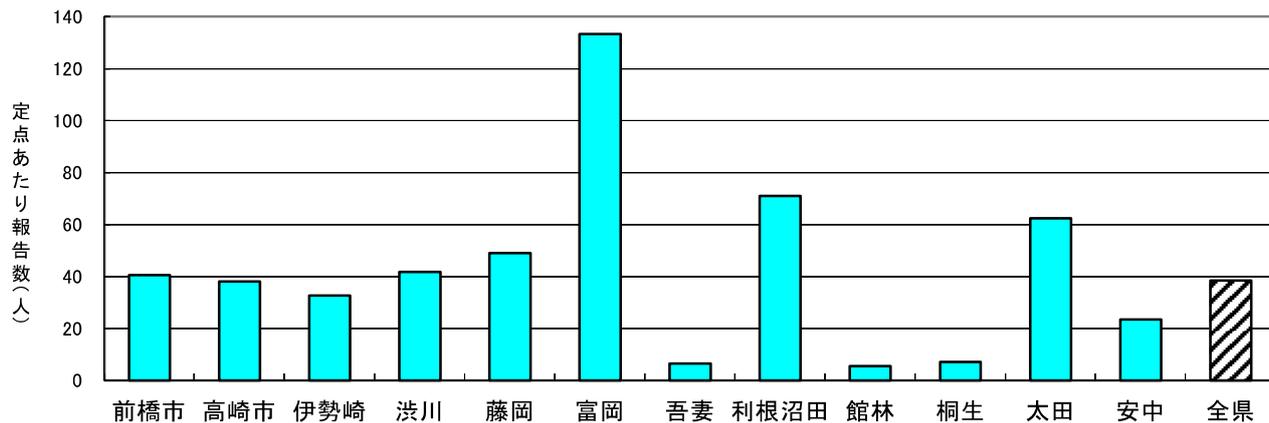
年齢群別患者発生状況

（報告数：人）

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	8	74	393	276	216	259	259	218	120	80	43
%	0.4	3.7	19.4	13.6	10.7	12.8	12.8	10.8	5.9	4.0	2.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	54	4	19	2,023
%	2.7	0.2	0.9	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

（報告数：人）

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	324	341	193	167	97	264	13	142	27	35	374	46	2,023
定点あたり	40.60	38.05	32.69	41.75	48.97	133.28	6.50	71.00	5.46	7.03	62.33	23.45	38.39

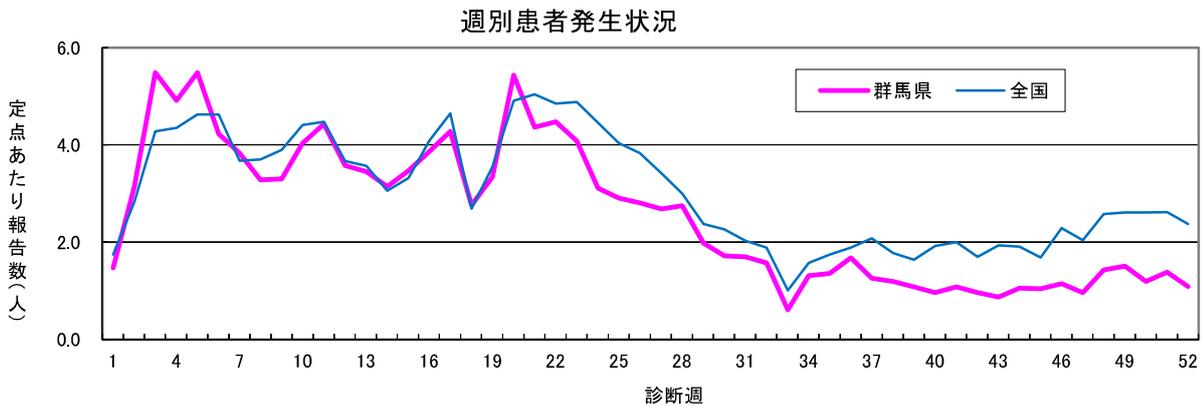
(3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点からの年間報告数は7,089人（定点あたり134.54人）でした。〔前年3,161人（定点あたり58.94人）〕

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しました。

年齢群別では、10-14歳（14.2%）が最多で、次いで6歳（13.3%）、5歳（13.0%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、太田（207.83人）が最多で、次いで富岡（170.64人）、伊勢崎（168.20人）でした。



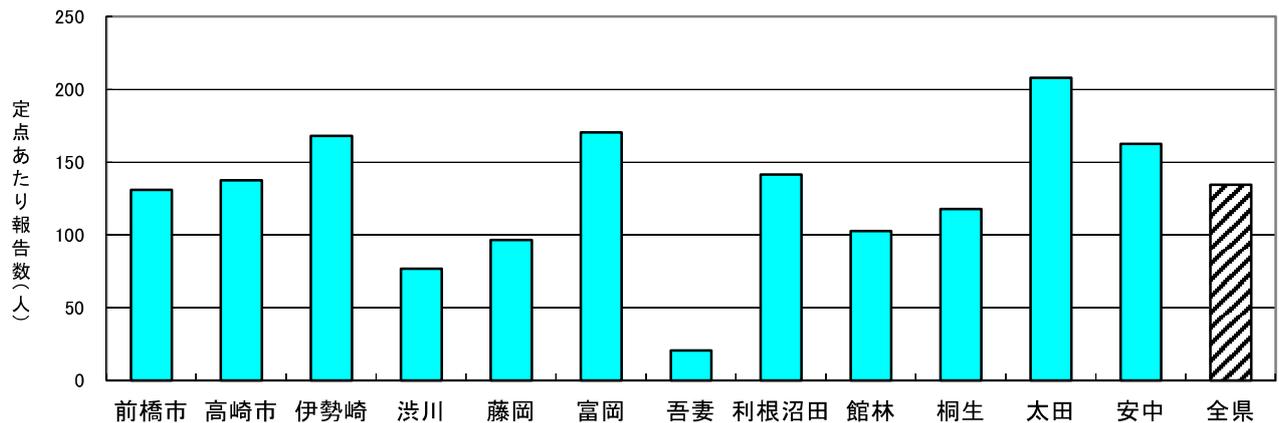
年齢群別患者発生状況

（報告数：人）

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	3	19	149	285	556	816	923	942	776	715	591
%	0.0	0.3	2.1	4.0	7.8	11.5	13.0	13.3	10.9	10.1	8.3

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	1,004	69	241	7,089
%	14.2	1.0	3.4	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

（報告数：人）

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	1,045	1,232	993	307	191	338	41	283	507	586	1,247	319	7,089
定点あたり	130.94	137.48	168.20	76.75	96.43	170.64	20.50	141.50	102.58	117.65	207.83	162.63	134.54

(4) 感染性胃腸炎

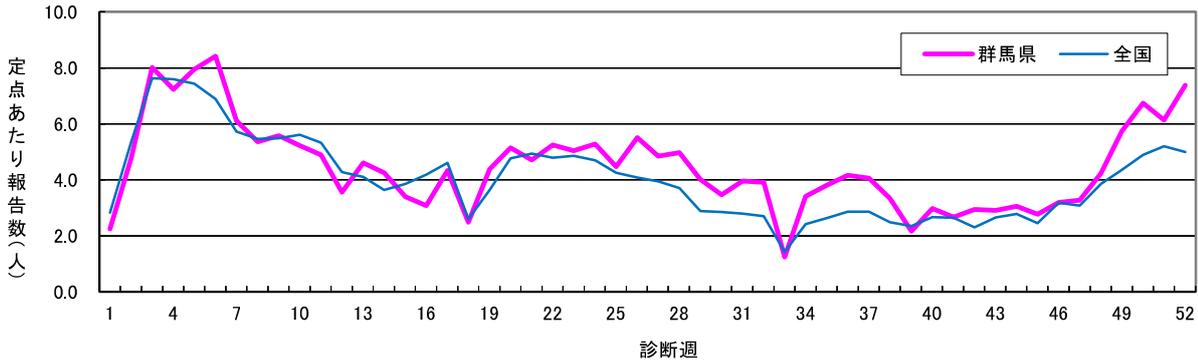
定点からの年間報告数は12,301人（定点あたり233.45人）でした。〔前年13,547人（定点あたり252.58人）〕

年間の発生状況は概ね全国平均と同様に推移しました。

年齢群別では、1歳（13.9%）が最多で、次いで2歳（11.0%）、10-14歳（9.9%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、富岡（457.40人）が最多で、次いで館林（425.11人）、伊勢崎（359.77人）でした。

週別患者発生状況



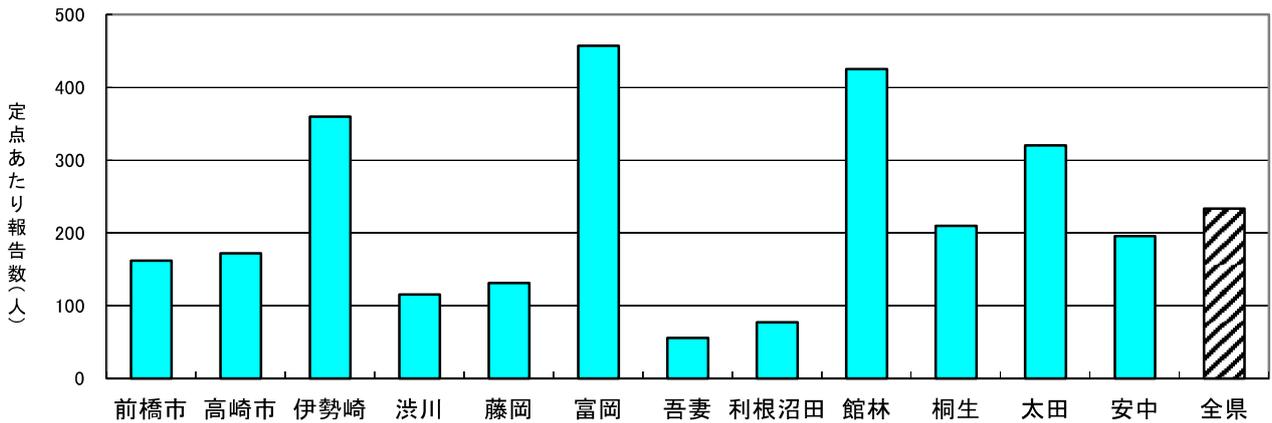
年齢群別患者発生状況

（報告数：人）

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	93	591	1,710	1,354	1,193	1,158	1,145	977	755	689	509
%	0.8	4.8	13.9	11.0	9.7	9.4	9.3	7.9	6.1	5.6	4.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	1,217	205	705	12,301
%	9.9	1.7	5.7	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

（報告数：人）

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	1,292	1,541	2,124	461	260	906	112	154	2,101	1,044	1,922	384	12,301
定点あたり	161.89	171.96	359.77	115.25	131.26	457.40	56.00	77.00	425.11	209.61	320.33	195.76	233.45

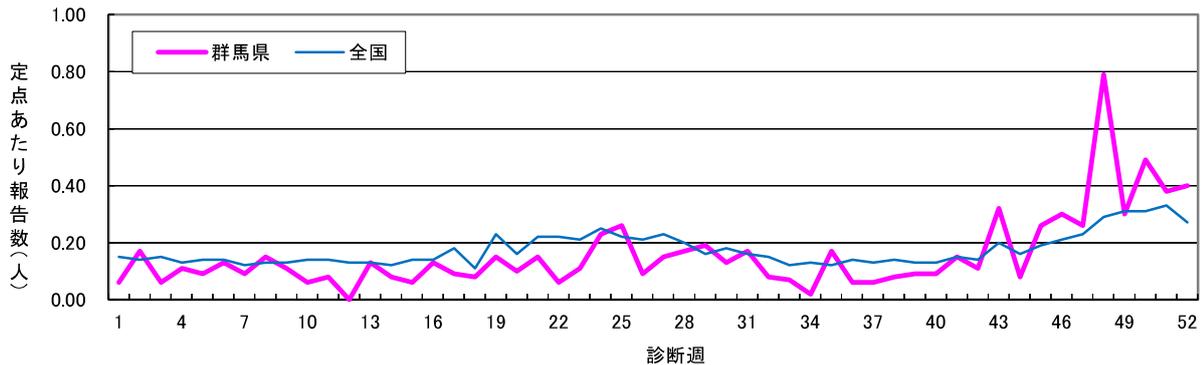
(5)水痘

定点からの年間報告数は434人（定点あたり8.24人）でした。〔前年284人（定点あたり5.30人）〕

年齢群別では、10-14歳（26.3%）が最多で、次いで9歳（13.1%）、8歳（9.9%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、富岡（42.91人）が最多で、次いで安中（11.73人）、館林（9.91人）でした。

週別患者発生状況



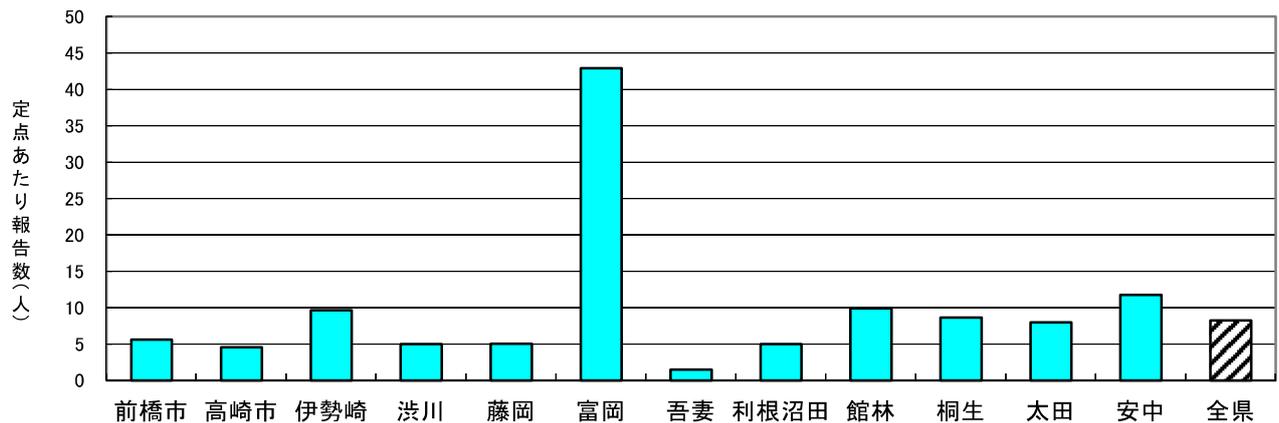
年齢群別患者発生状況

（報告数：人）

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	2	9	32	19	24	19	32	34	32	43	57
%	0.5	2.1	7.4	4.4	5.5	4.4	7.4	7.8	7.4	9.9	13.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	114	11	6	434
%	26.3	2.5	1.4	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

（報告数：人）

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	45	41	57	20	10	85	3	10	49	43	48	23	434
定点あたり	5.64	4.58	9.65	5.00	5.05	42.91	1.50	5.00	9.91	8.63	8.00	11.73	8.24

(6)手足口病

定点からの年間報告数は11,695人（定点あたり221.95人）でした。[前年1,643人（定点あたり30.63人）]

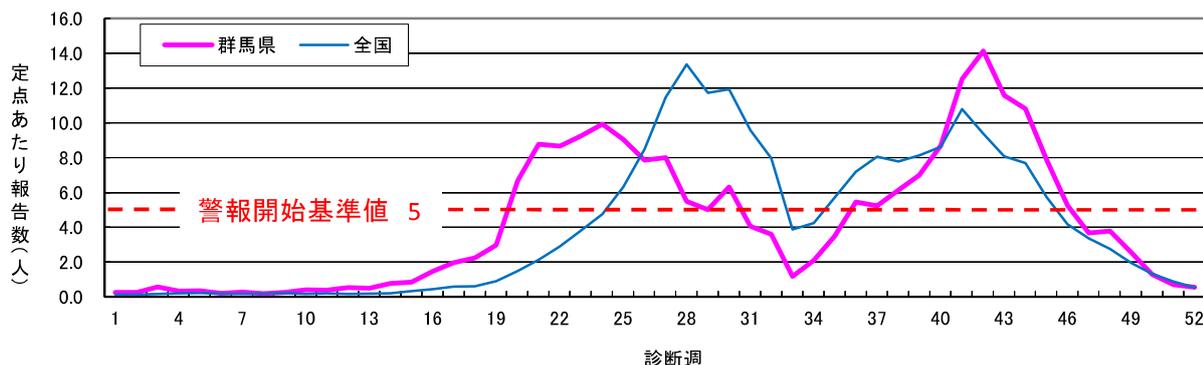
第24週（6月上旬）に1度目のピークがあり、全国平均のピーク（第28週）に先行しました。

その後、減少しましたが、報告数が再増し、全国とほぼ同時期（第42週・10月中旬）に2度目のピークを迎えました。

年齢群別では、1歳（28.1%）が最多で、次いで2歳（18.3%）、3歳（12.7%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、富岡（487.18人）が最多で、次いで館林（274.57人）、伊勢崎（271.35人）でした。

週別患者発生状況



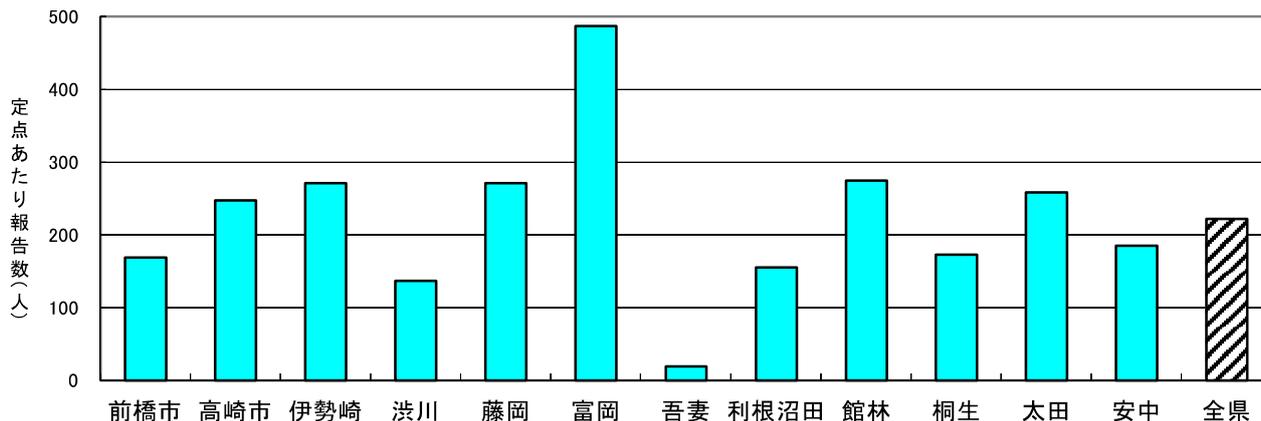
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	75	696	3,283	2,135	1,488	1,443	1,130	544	285	215	127
%	0.6	6.0	28.1	18.3	12.7	12.3	9.7	4.7	2.4	1.8	1.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	186	17	71	11,695
%	1.6	0.1	0.6	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	1,348	2,216	1,602	548	537	965	38	311	1,357	861	1,549	363	11,695
定点あたり	168.91	247.28	271.35	137.00	271.11	487.18	19.00	155.50	274.57	172.86	258.17	185.06	221.95

(7) 伝染性紅斑

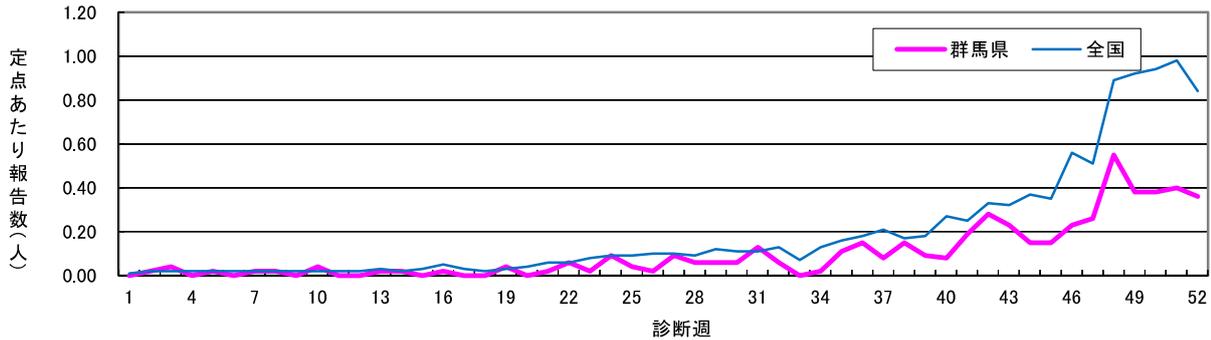
定点からの年間報告数は274人（定点あたり5.20人）でした。[前年37人（定点あたり0.69人）]

年間の発生状況は全国平均よりやや低い値で推移しました。

年齢群別では、6歳（19.0%）が最多で、次いで5歳（16.4%）、4歳及び7歳（各11.7%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、館林（13.96人）が最多で、次いで桐生（13.85人）、高崎市（4.80人）でした。

週別患者発生状況



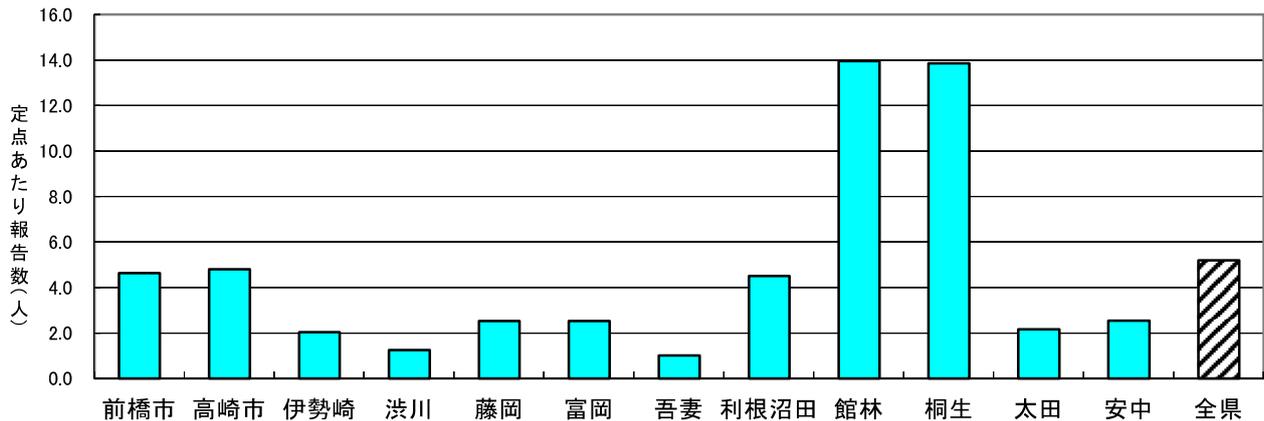
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	1	4	22	19	30	32	45	52	32	12	10
%	0.4	1.5	8.0	6.9	10.9	11.7	16.4	19.0	11.7	4.4	3.6

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	12	1	2	274
%	4.4	0.4	0.7	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	37	43	12	5	5	5	2	9	69	69	13	5	274
定点あたり	4.64	4.80	2.03	1.25	2.52	2.52	1.00	4.50	13.96	13.85	2.17	2.55	5.20

(8) 突発性発しん

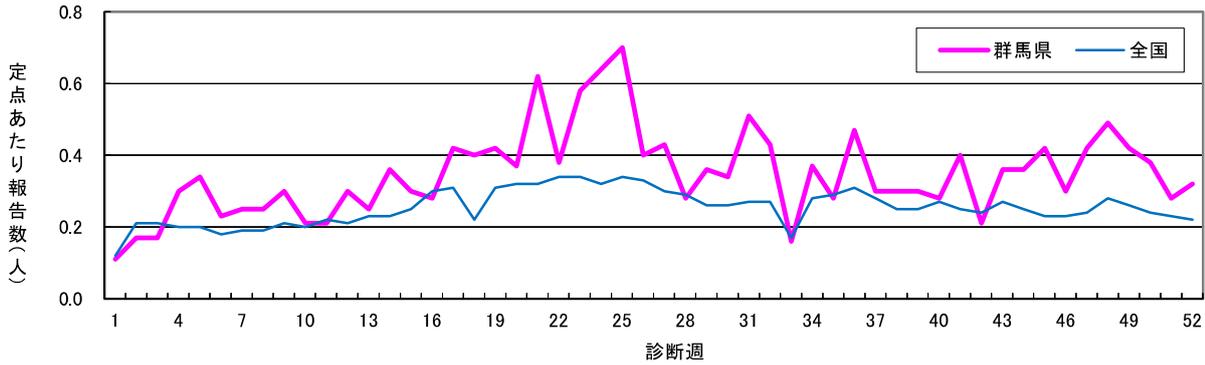
定点からの年間報告数は955人（定点あたり18.12人）でした。〔前年882人（定点あたり16.44人）〕

年間の発生状況は全国平均よりやや高い値で推移しました。

年齢群別では、1歳（60.7%）が最多で、1歳以下で全体の80%以上を占めました。

保健所別の定点あたり報告数は、富岡（26.76人）が最多で、次いで太田（23.33人）、高崎市（22.21人）でした。

週別患者発生状況



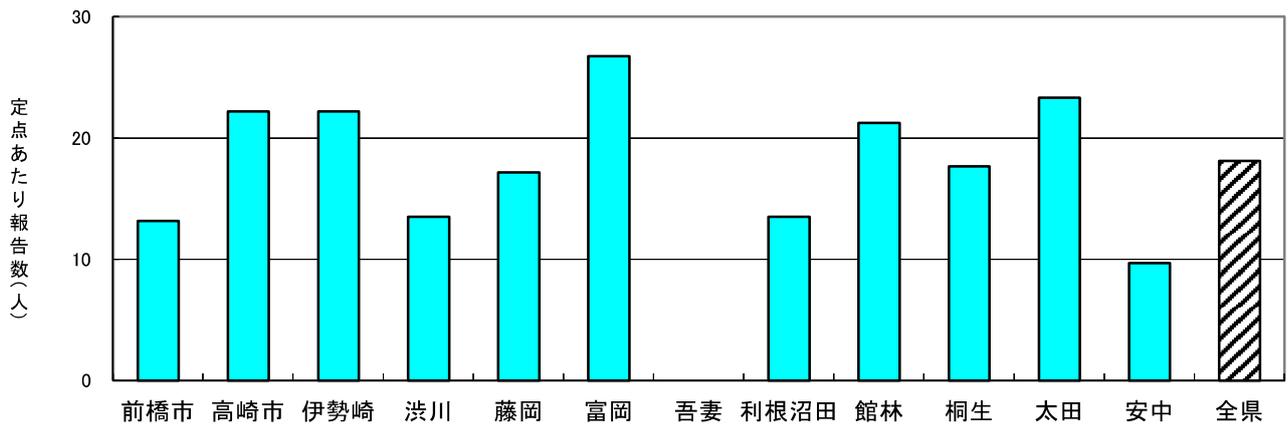
年齢群別患者発生状況

（報告数：人）

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	9	192	580	115	36	12	6	3	-	-	1
%	0.9	20.1	60.7	12.0	3.8	1.3	0.6	0.3	-	-	0.1

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	1	-	-	955
%	0.1	-	-	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

（報告数：人）

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	105	199	131	54	34	53	-	27	105	88	140	19	955
定点あたり	13.16	22.21	22.19	13.50	17.17	26.76	-	13.50	21.25	17.67	23.33	9.69	18.12

(9) ヘルパンギーナ

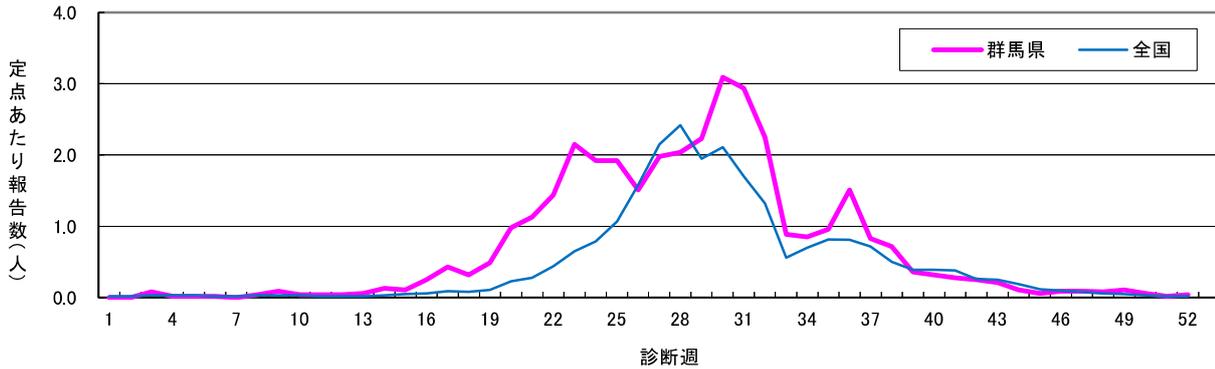
定点からの年間報告数は1,873人（定点あたり35.55人）でした。〔前年3,938人（定点あたり73.42人）〕

年間の発生状況は、第30週（7月下旬）に報告数がピークとなりました。

年齢群別では、1歳（21.5%）が最多で、次いで2歳（16.8%）、3歳（15.5%）でした。

保健所別の定点あたり報告数は、富岡（89.36人）が最多で、次いで太田（58.83人）、高崎市（49.99人）でした。

週別患者発生状況



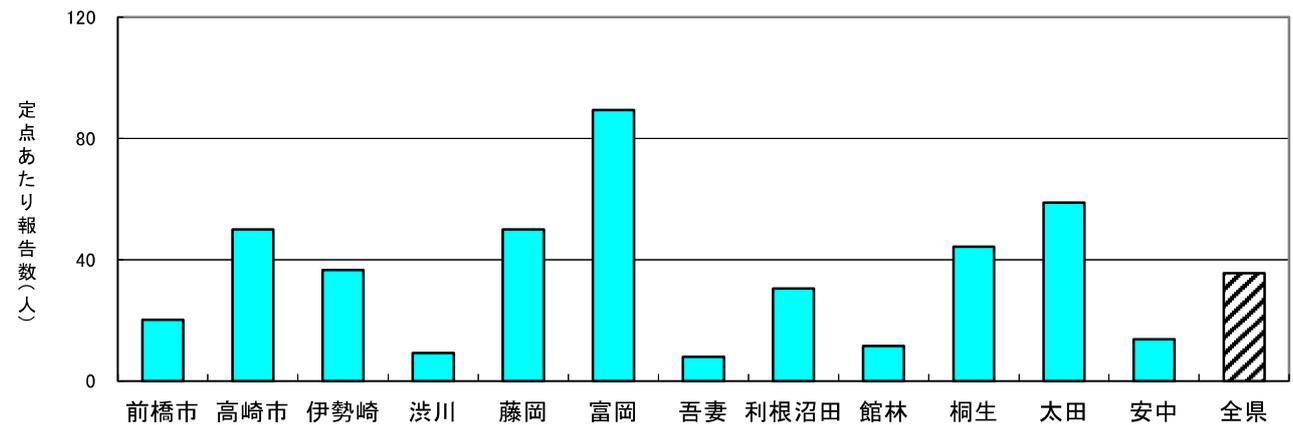
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	9	107	402	315	291	232	232	116	63	33	33
%	0.5	5.7	21.5	16.8	15.5	12.4	12.4	6.2	3.4	1.8	1.8

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	32	1	7	1,873
%	1.7	0.1	0.4	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	161	448	216	37	99	177	16	61	57	221	353	27	1,873
定点あたり	20.17	49.99	36.59	9.25	49.98	89.36	8.00	30.50	11.53	44.37	58.83	13.76	35.55

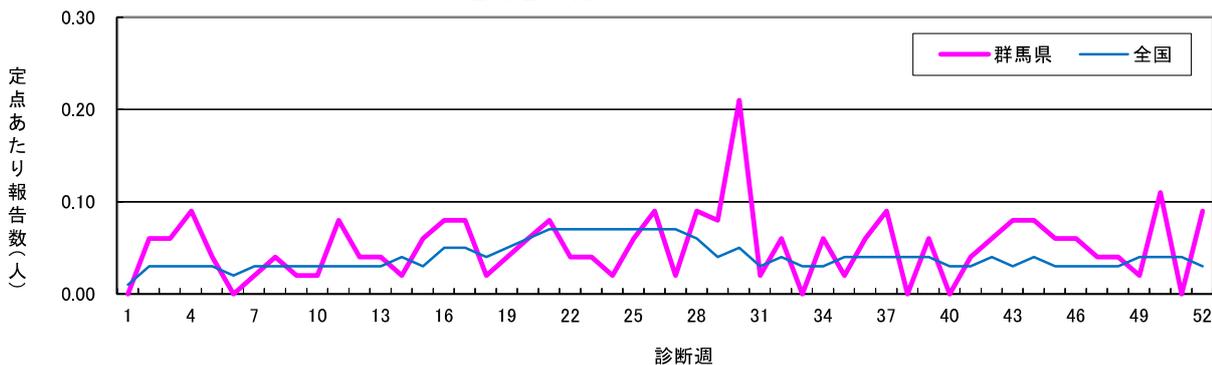
(10) 流行性耳下腺炎

定点からの年間報告数は136人（定点あたり2.58人）でした。〔前年174人（定点あたり3.24人）〕

年齢群別では、4歳（19.1%）が最多で、8歳以下で全体の80%以上を占めました。

保健所別の定点あたり報告数は、伊勢崎（4.91人）が最多で、次いで太田（3.83人）、館林（3.44人）でした。

週別患者発生状況



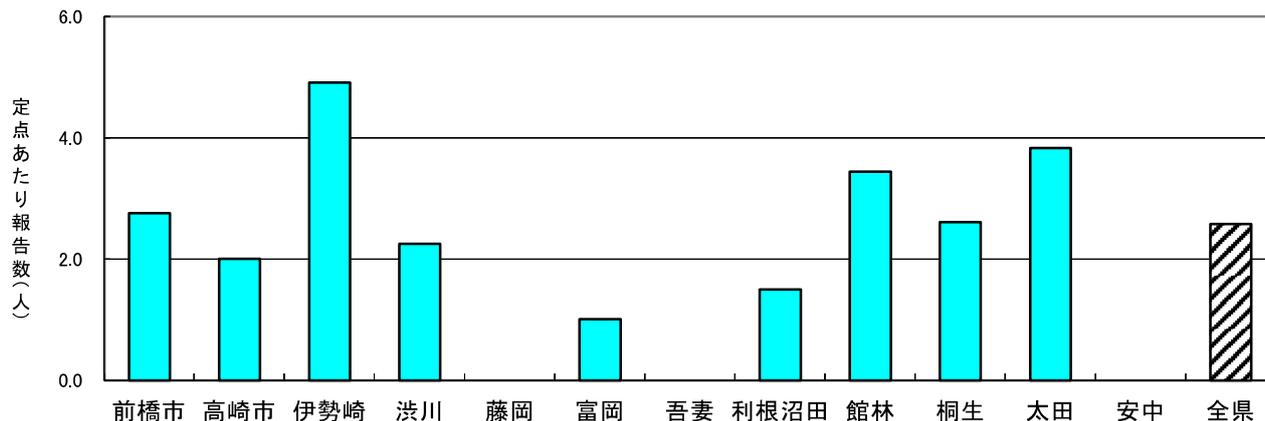
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	-	1	6	9	9	26	21	22	10	10	6
%	-	0.7	4.4	6.6	6.6	19.1	15.4	16.2	7.4	7.4	4.4

年齢群	10-14歳	15-19歳	20歳～	合計
報告数	13	2	1	136
%	9.6	1.5	0.7	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	吾妻	利根沼田	館林	桐生	太田	安中	全県
報告数	22	18	29	9	-	2	-	3	17	13	23	-	136
定点あたり	2.76	2.01	4.91	2.25	-	1.01	-	1.50	3.44	2.61	3.83	-	2.58

◆週報 眼科

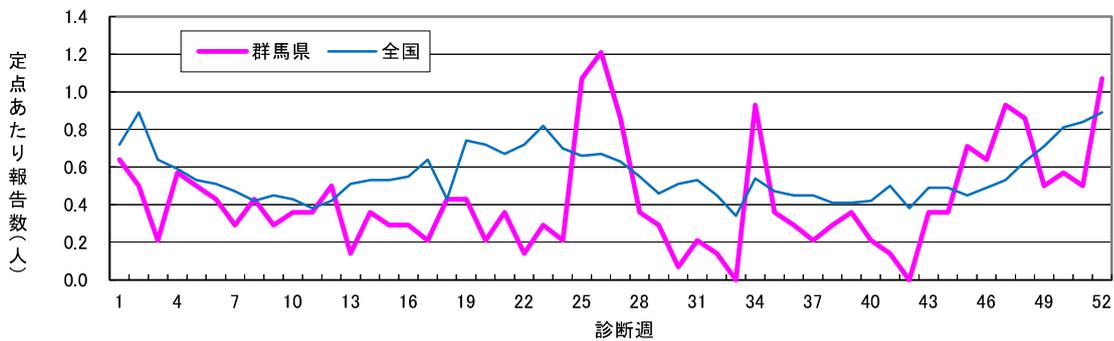
(1) 急性出血性結膜炎

定点からの年間報告数は5人（定点あたり0.36人）でした。[前年2人（定点あたり0.14人）]
 年齢群別では、5歳、10-14歳、30-39歳、40-49歳、50-59歳で各1人の報告がありました。
 保健所別では、伊勢崎（3人）、高崎市（1人）、桐生（1人）から報告がありました。

(2) 流行性角結膜炎

定点からの年間報告数は307人（定点あたり21.96人）でした。[前年269人（定点あたり19.21人）]
 年齢群別では、30-39歳（24.8%）が最多で、次いで40-49歳（14.3%）、50-59歳（11.7%）でした。
 保健所別の定点あたり報告数は、渋川（41.00人）が最多でした。

週別患者発生状況



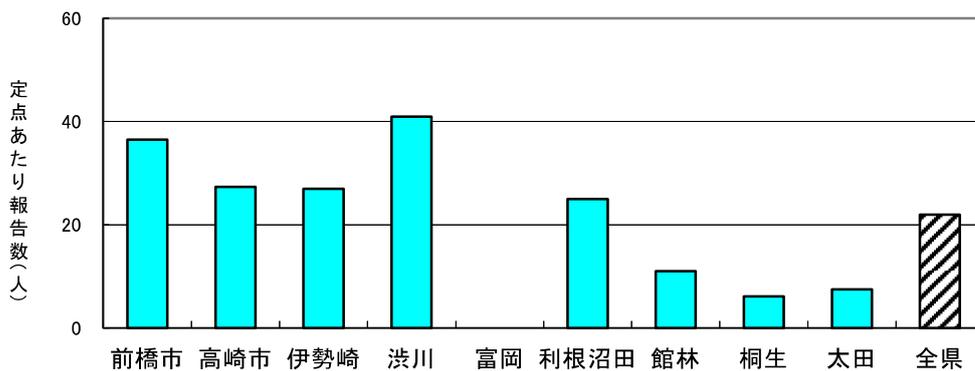
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
報告数	1	3	7	7	7	15	9	-	1	4	7
%	0.3	1.0	2.3	2.3	2.3	4.9	2.9	-	0.3	1.3	2.3

年齢群	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳～	合計
報告数	12	3	28	76	44	36	29	18	307
%	3.9	1.0	9.1	24.8	14.3	11.7	9.4	5.9	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	富岡	利根沼田	館林	桐生	太田	全県
報告数	73	82	54	41	-	25	11	6	15	307
定点あたり	36.50	27.33	27.00	41.00	-	25.00	11.00	6.12	7.50	21.96

◆週報 基幹

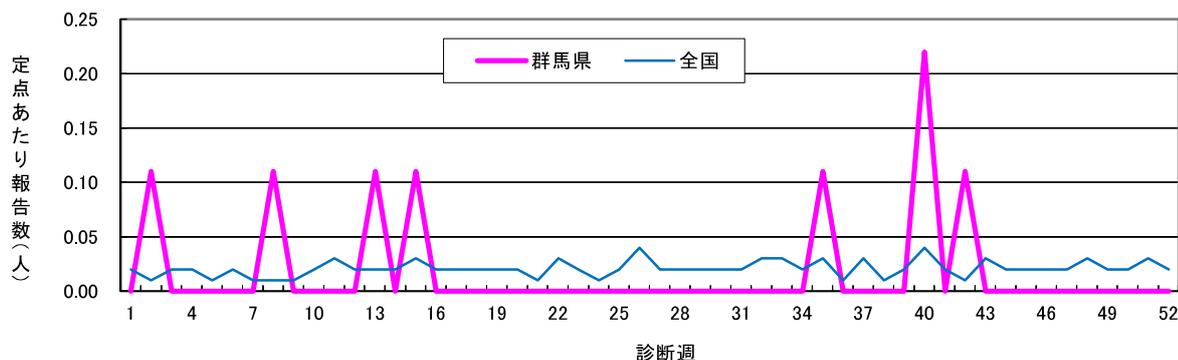
(1)細菌性髄膜炎

定点からの年間報告数は8人（定点あたり0.89人）でした。〔前年6人（定点あたり0.67人）〕

年齢群別では、70歳以上（3人）、0歳（2人）、40-44歳（1人）、55-59歳（1人）、65-69歳（1人）の報告がありました。

保健所別では、伊勢崎（3人）、太田（3人）、高崎市（1人）、桐生（1人）から報告がありました。

週別患者発生状況



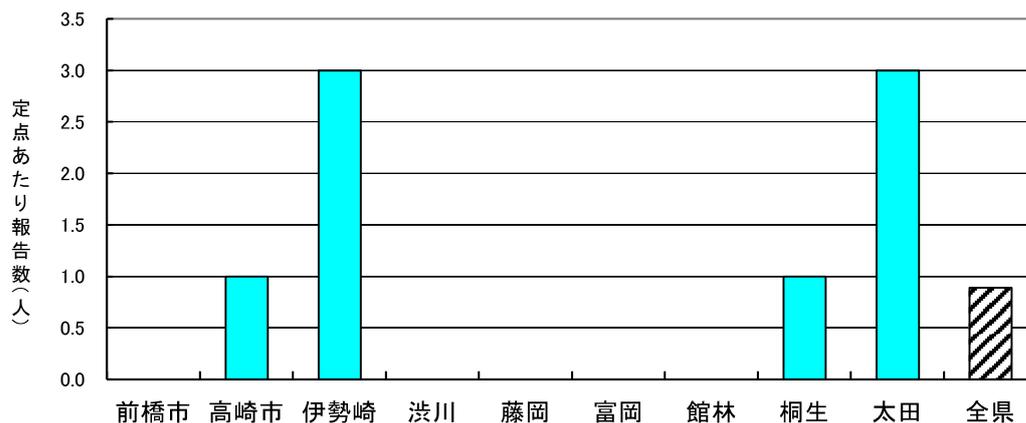
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
%	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
報告数	-	1	-	1	3	8
%	-	12.5	-	12.5	37.5	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

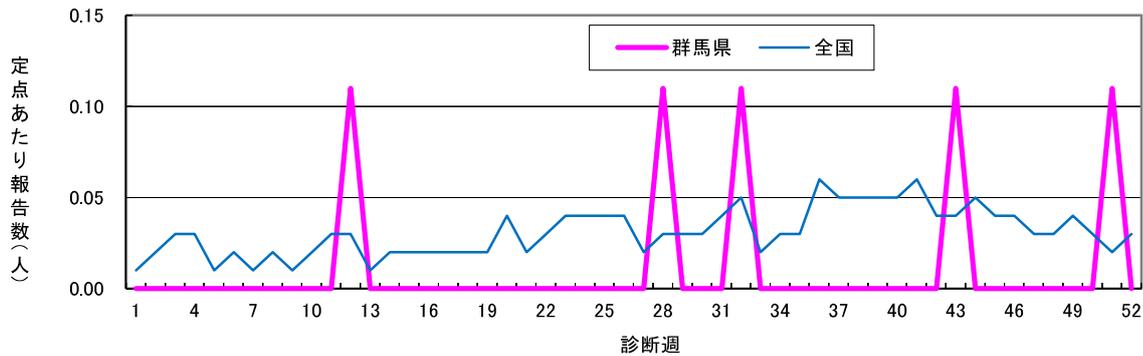
(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	-	1	3	-	-	-	-	1	3	8
定点あたり	-	1.00	3.00	-	-	-	-	1.00	3.00	0.89

(2)無菌性髄膜炎

定点からの年間報告数は5人（定点あたり0.56人）でした。〔前年8人（定点あたり0.89人）〕
 年齢群別では、0歳（2人）、40-44歳（1人）、50-54歳（1人）、65-69歳（1人）の報告がありました。
 保健所別では、太田（5人）から報告がありました。

週別患者発生状況



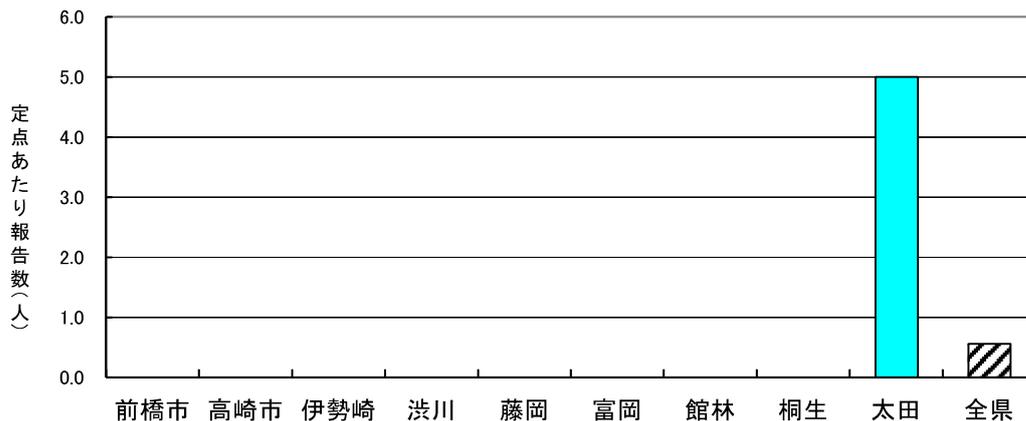
年齢群別患者発生状況

（報告数：人）

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
%	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
報告数	1	-	-	1	-	5
%	20.0	-	-	20.0	-	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

（報告数：人）

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	-	-	-	-	-	-	-	-	5	5
定点あたり	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00	0.56

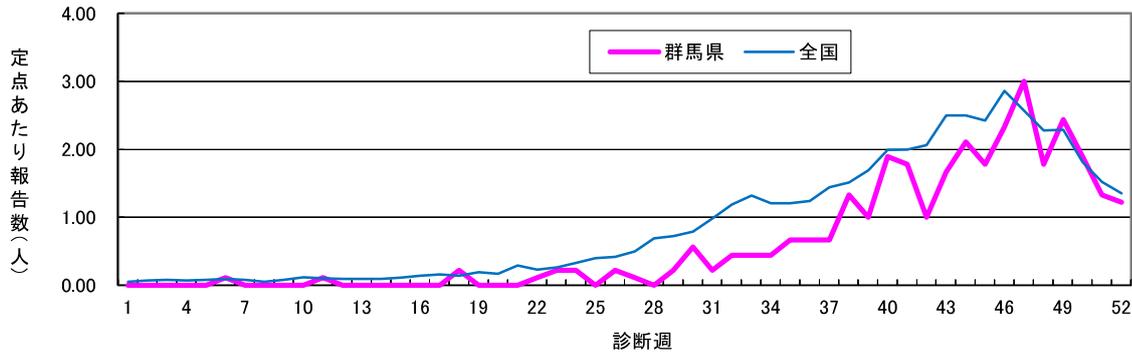
(3) マイコプラズマ肺炎

定点からの年間報告数は290人（定点あたり32.22人）でした。[前年11人（定点あたり1.22人）でした]

年齢群別では、5-9歳（100人）が最も多く、次いで10-14歳（93人）、1-4歳（40人）でした。

保健所別では、前橋市（85人）が最多で、次いで伊勢崎（62人）でした。

週別患者発生状況



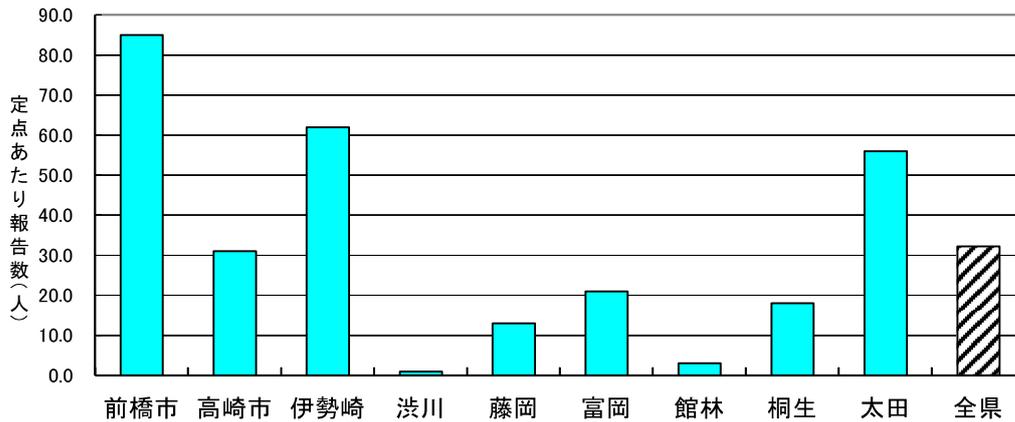
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	-	40	100	93	32	5	5	4	1	1	2
%	-	13.8	34.5	32.1	11.0	1.7	1.7	1.4	0.3	0.3	0.7

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
報告数	1	-	-	1	5	290
%	0.3	-	-	0.3	1.7	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	85	31	62	1	13	21	3	18	56	290
定点あたり	85.00	31.00	62.00	1.00	13.00	21.00	3.00	18.00	56.00	32.22

(4) クラミジア肺炎(オウム病を除く。)

定点からの年間報告数は0人でした。[前年2人(定点当たり0.22人)]

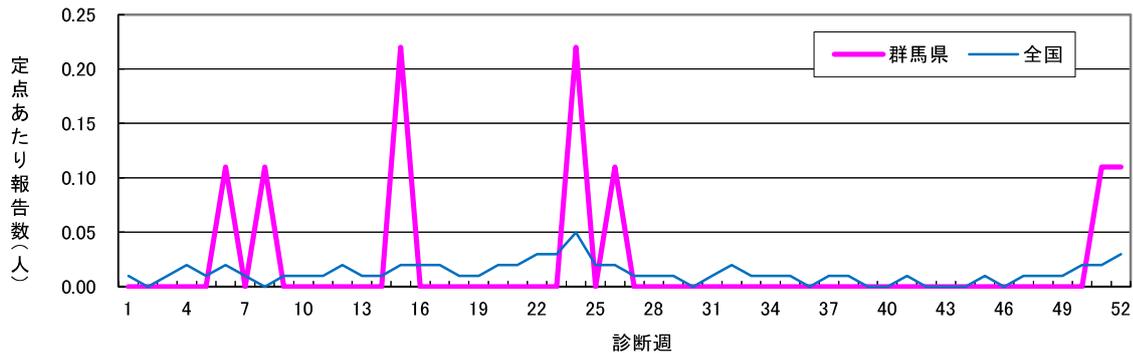
(5) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点からの年間報告数は9人(定点あたり1.00人)でした。[前年0人]

年齢群別では、1-4歳(5人)、0歳(2人)、5-9歳(2人)の報告がありました。

保健所別では、前橋市(6人)、高崎市(2人)、伊勢崎(1人)から報告がありました。

週別患者発生状況



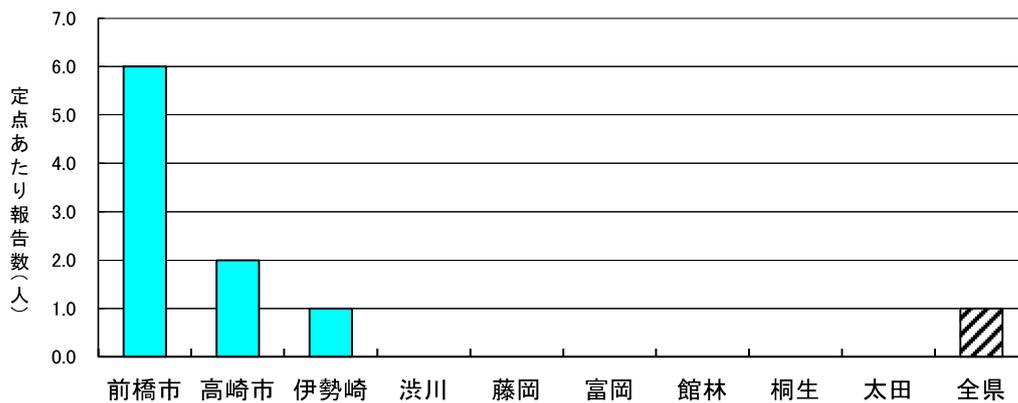
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	2	5	2	-	-	-	-	-	-	-	-
%	22.2	55.6	22.2	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
報告数	-	-	-	-	-	9
%	-	-	-	-	-	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	6	2	1	-	-	-	-	-	-	9
定点あたり	6.00	2.00	1.00	-	-	-	-	-	-	1.00

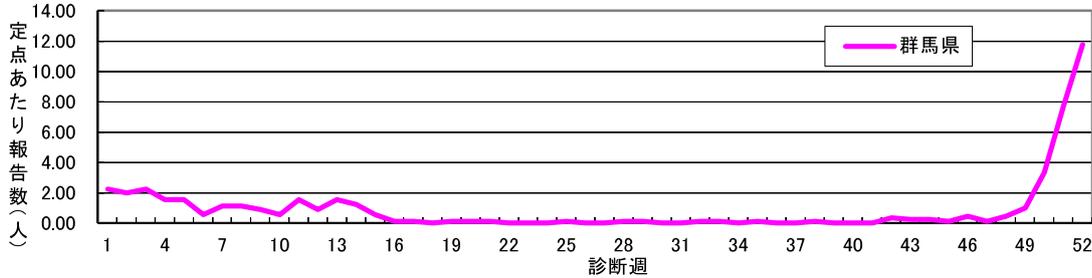
(6) インフルエンザ(入院サーベイランス)

定点からの年間報告数は419人(定点あたり46.56人)でした。[前年331人(定点あたり36.78人)]

年齢群別では、80歳以上(26.3%)が最多で、次いで1-4歳(13.1%)、5-9歳(13.1%)でした。

保健所別の定点あたり報告数は、前橋市(91.00人)が最多で、次いで高崎市(76.00人)、伊勢崎(55.00人)でした。

週別患者発生状況



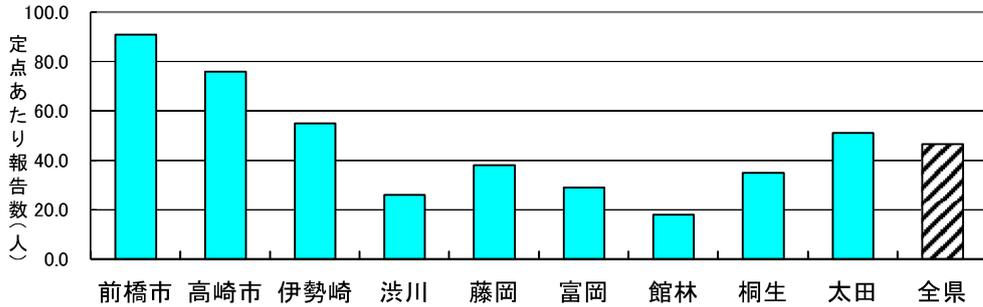
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	17	55	55	22	7	3	5	4	2	11	6
%	4.1	13.1	13.1	5.3	1.7	0.7	1.2	1.0	0.5	2.6	1.4

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳～	合計
報告数	11	9	15	23	20	44	110	419
%	2.6	2.1	3.6	5.5	4.8	10.5	26.3	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	91	76	55	26	38	29	18	35	51	419
定点あたり	91.00	76.00	55.00	26.00	38.00	29.00	18.00	35.00	51.00	46.56

入院時の状況と年齢別内訳(一部、重複あり)

(報告数:人)

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
ICU入室	-	-	1	-	-	1	-	2	1	1	2	2	10
呼吸器※1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3	3	9
CT、MRI、脳波※2	2	4	3	-	-	1	-	2	4	2	8	11	37
該当なし	16	51	52	22	7	6	6	13	15	34	54	96	372
合計	18	55	56	22	7	8	6	17	22	38	67	112	428

※1 人工呼吸器の利用、 ※2 頭部CT検査、頭部MRI検査、脳波検査のいずれかの実施

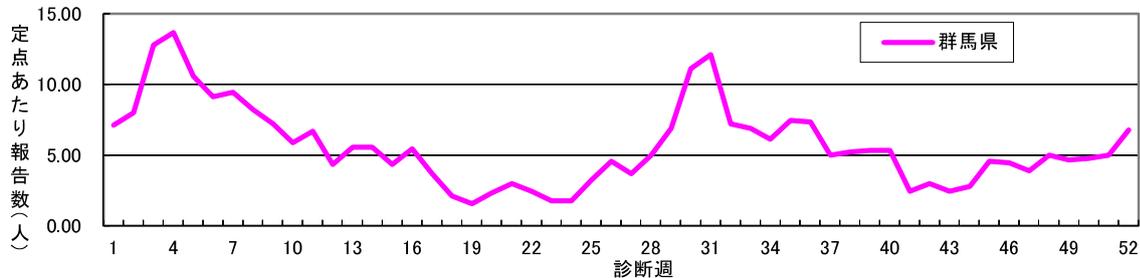
(7) 新型コロナウイルス感染症(入院サーベイランス)

定点からの年間報告数は2,653人(定点あたり294.78人)でした。[前年551人(定点あたり61.22人)]

年齢群別では、80歳以上(47.5%)が最多で、60歳以上が全体の70%以上を占めました。

保健所別の定点あたり報告数は、高崎市(426.00人)が最多で、次いで桐生(390.00人)、伊勢崎(335.00人)でした。

週別患者発生状況



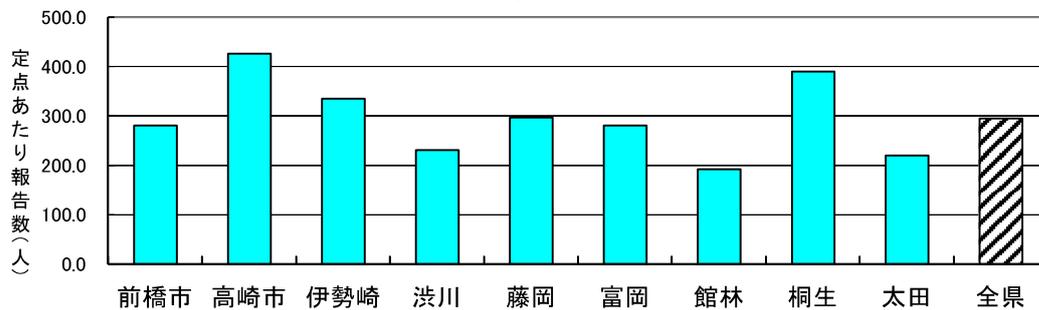
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
報告数	134	58	21	11	14	22	23	14	22	28	44
%	5.1	2.2	0.8	0.4	0.5	0.8	0.9	0.5	0.8	1.1	1.7

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80歳～	合計
報告数	59	54	91	140	273	385	1,260	2,653
%	2.2	2.0	3.4	5.3	10.3	14.5	47.5	100.0

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

	前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	281	426	335	231	297	281	192	390	220	2,653
定点あたり	281.00	426.00	335.00	231.00	297.00	281.00	192.00	390.00	220.00	294.78

入院時の状況と年齢別内訳(一部、重複あり)

(報告数:人)

年齢	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	合計
ICU入室	-	-	-	-	-	1	-	2	3	14	15	20	55
呼吸器※1	-	-	-	-	-	1	1	1	3	10	13	10	39
該当なし	134	58	21	11	14	43	35	69	109	215	636	1,232	2,577
合計	134	58	21	11	14	45	36	72	115	239	664	1,262	2,671

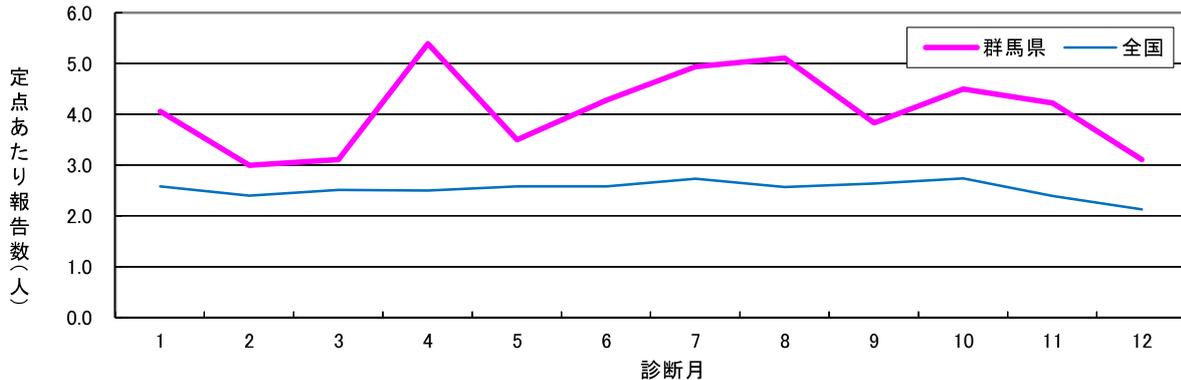
※1 人工呼吸器の利用

◆月報 性感染症

(1)性器クラミジア感染症

定点からの年間報告数は883人（定点あたり49.06人）でした。[前年823人（定点あたり45.72人）]
 年齢群別では、20歳代（50.2%）が最多で、次いで30歳代（22.4%）で報告がありました。
 保健所別の定点あたり報告数は、伊勢崎（162.00人）が最多で、次いで太田（73.50人）でした。

月別患者発生状況



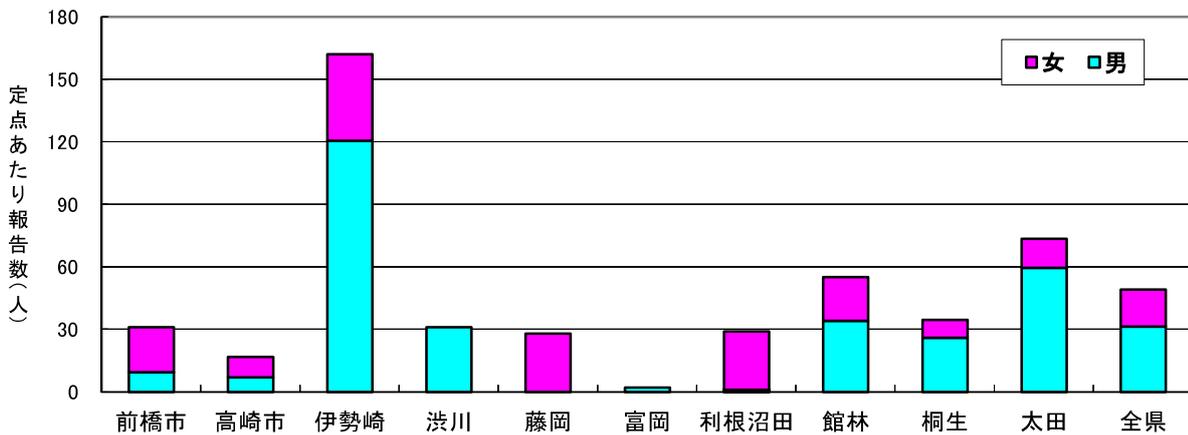
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	45	144	105	69	72	49	36
女	-	-	-	-	42	113	81	40	17	14	8

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	19	13	8	1	2	563
女	3	2	-	-	-	320

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

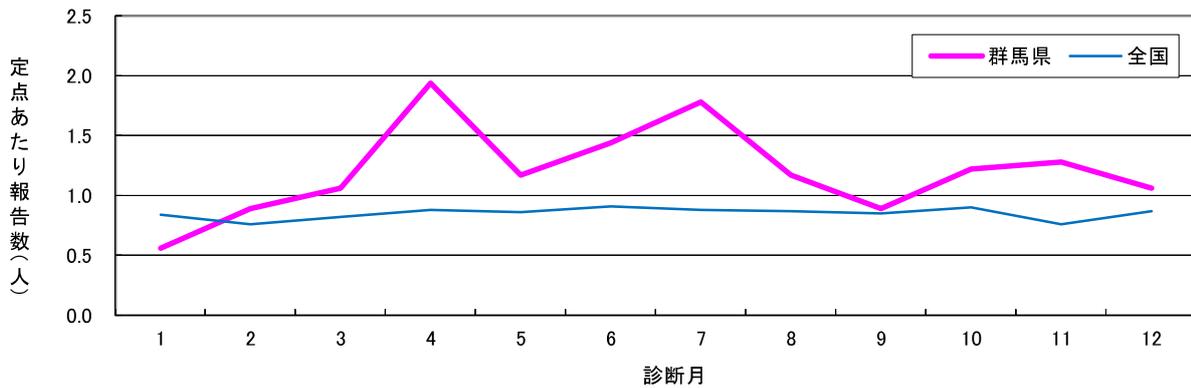
(報告数:人)

		前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	利根沼田	館林	桐生	太田	全県
報告数	男	28	21	241	31	-	2	1	68	52	119	563
	女	65	29	83	-	28	-	28	42	17	28	320
	計	93	50	324	31	28	2	29	110	69	147	883
定点あたり	男	9.33	7.00	120.50	31.00	-	2.00	1.00	34.00	26.00	59.50	31.28
	女	21.67	9.67	41.50	-	28.00	-	28.00	21.00	8.50	14.00	17.78
	計	31.00	16.67	162.00	31.00	28.00	2.00	29.00	55.00	34.50	73.50	49.06

(2) 性器ヘルペスウイルス感染症

定点からの年間報告数は260人（定点あたり14.44人）でした。[前年208人（定点あたり11.56人）]
 年齢群別では、30歳代（26.9%）が最多で、次いで40歳代（25.8%）で報告がありました。
 保健所別の定点あたり報告数は、利根沼田（44.00人）が最多で、次いで桐生（21.00人）でした。

月別患者発生状況



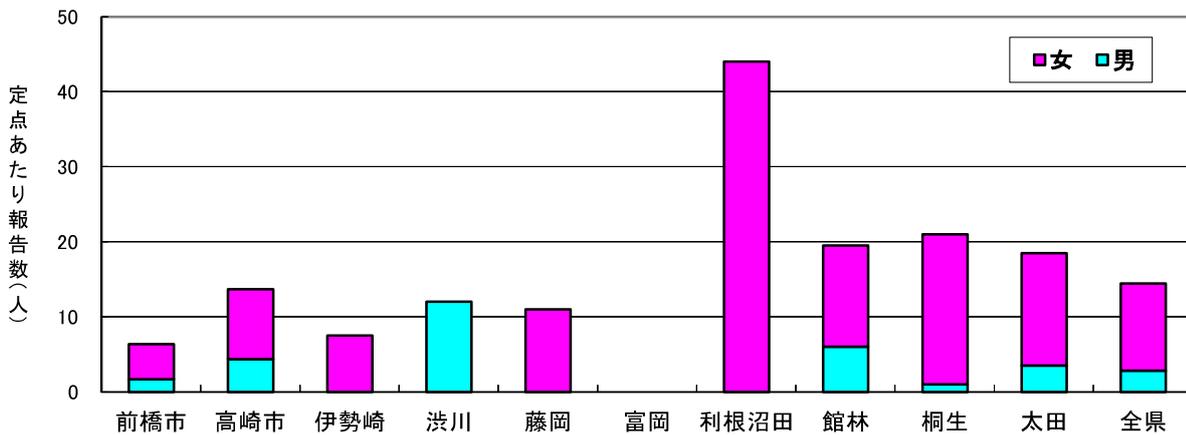
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	2	2	12	8	7	9	4
女	-	-	-	-	7	24	12	31	24	29	25

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	4	1	1	1	-	51
女	19	11	13	7	7	209

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

		前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	利根沼田	館林	桐生	太田	全県
報告数	男	5	13	-	12	-	-	-	12	2	7	51
	女	14	28	15	-	11	-	44	27	40	30	209
	計	19	41	15	12	11	-	44	39	42	37	260
定点あたり	男	1.67	4.33	-	12.00	-	-	-	6.00	1.00	3.50	2.83
	女	4.67	9.33	7.50	-	11.00	-	44.00	13.50	20.00	15.00	11.61
	計	6.33	13.67	7.50	12.00	11.00	-	44.00	19.50	21.00	18.50	14.44

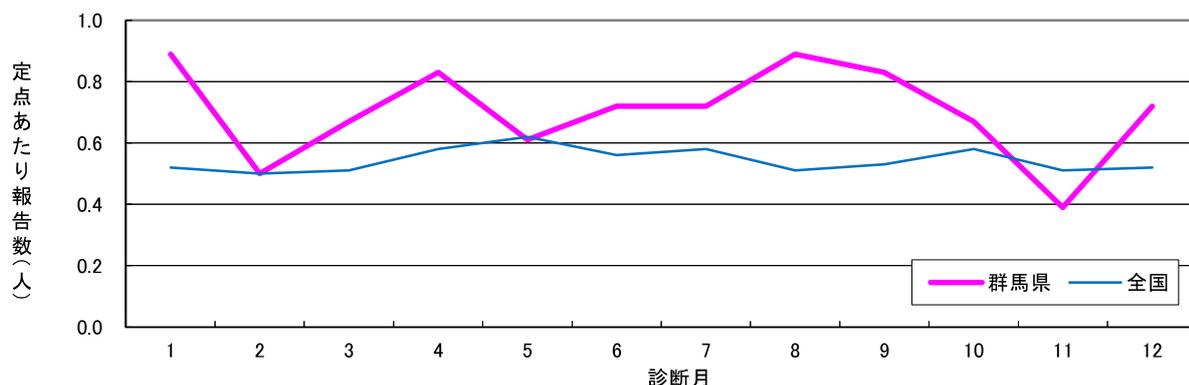
(3) 尖圭コンジローマ

定点からの年間報告数は152人（定点あたり8.44人）でした。〔前年118人（定点あたり6.56人）〕

年齢群別では、20歳代（40.1%）が最多で、次いで30歳代（23.0%）で報告がありました。

保健所別の定点あたり報告数は、伊勢崎（21.50人）が最多で、次いで渋川（17.00人）でした。

月別患者発生状況



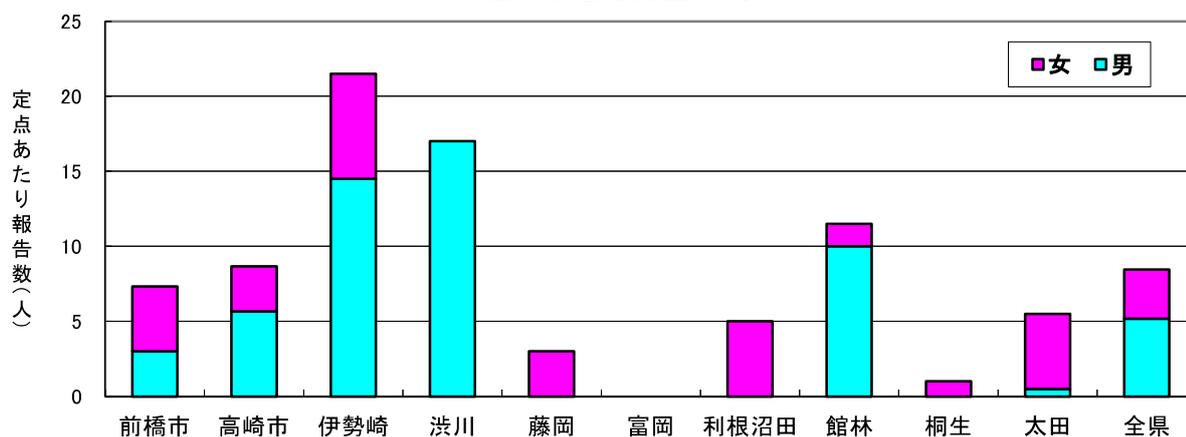
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	4	11	28	15	7	11	9
女	-	-	-	-	6	13	9	8	5	11	3

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	4	2	2	-	-	93
女	4	-	-	-	-	59

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

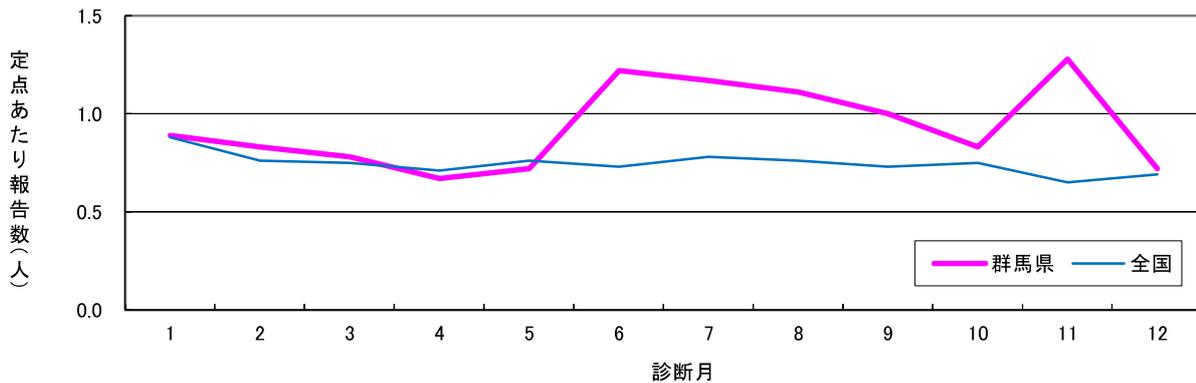
(報告数:人)

		前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	利根沼田	館林	桐生	太田	全県
報告数	男	9	17	29	17	-	-	-	20	-	1	93
	女	13	9	14	-	3	-	5	3	2	10	59
	計	22	26	43	17	3	-	5	23	2	11	152
定点あたり	男	3.00	5.67	14.50	17.00	-	-	-	10.00	-	0.50	5.17
	女	4.33	3.00	7.00	-	3.00	-	5.00	1.50	1.00	5.00	3.28
	計	7.33	8.67	21.50	17.00	3.00	-	5.00	11.50	1.00	5.50	8.44

(4) 淋菌感染症

定点からの年間報告数は202人（定点あたり11.22人）でした。[前年203人（定点あたり11.28人）]
 年齢群別では、20歳代（46.0%）が最多で、次いで30歳代（23.8%）で報告がありました。
 保健所別の定点あたり報告数は、太田（29.00人）が最多で、次いで渋川（27.00人）でした。

月別患者発生状況



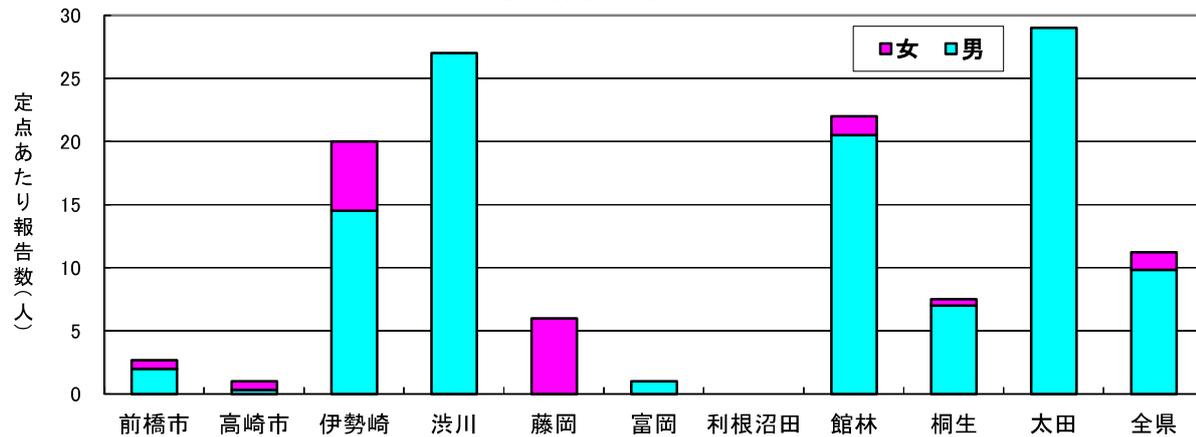
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	-	-	-	-	9	44	35	20	22	18	17
女	-	-	-	-	3	6	8	4	2	1	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	9	1	1	1	-	177
女	-	-	1	-	-	25

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

(報告数:人)

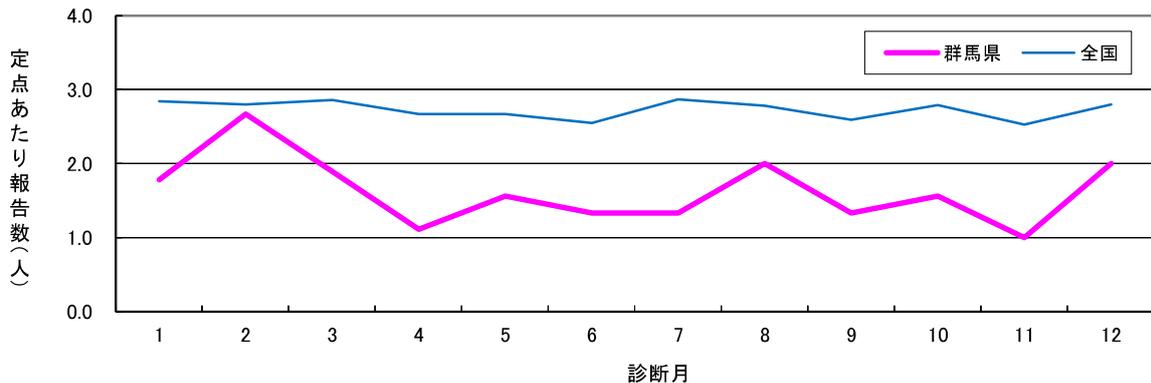
		前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	利根沼田	館林	桐生	太田	全県
報告数	男	6	1	29	27	-	1	-	41	14	58	177
	女	2	2	11	-	6	-	-	3	1	-	25
	計	8	3	40	27	6	1	-	44	15	58	202
定点あたり	男	2.00	0.33	14.50	27.00	-	1.00	-	20.50	7.00	29.00	9.83
	女	0.67	0.67	5.50	-	6.00	-	-	1.50	0.50	-	1.39
	計	2.67	1.00	20.00	27.00	6.00	1.00	-	22.00	7.50	29.00	11.22

◆月報 基幹

(1)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

定点からの年間報告数は176人（定点あたり19.56人）でした。[前年187人（定点あたり20.78人）]
 年齢群別では、70歳以上（63.6%）で最も多くの報告がありました。
 保健所別の定点あたり報告数は、太田（44.00人）が最多で、次いで伊勢崎（27.00人）でした。

月別患者発生状況



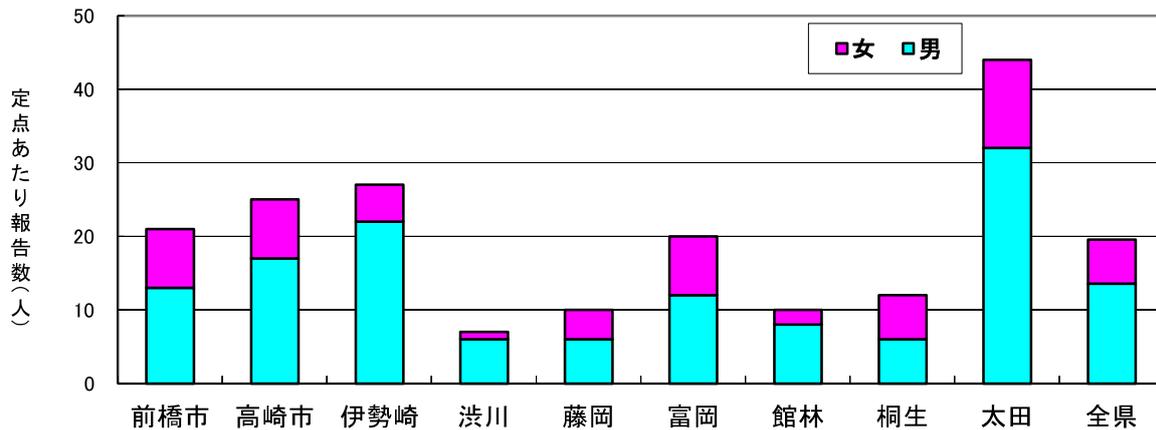
年齢群別患者発生状況

(報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	2	2	2	-	-	1	-	1	4	-	4
女	1	3	1	-	-	-	-	-	3	-	2

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	4	9	8	9	76	122
女	-	1	3	4	36	54

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況

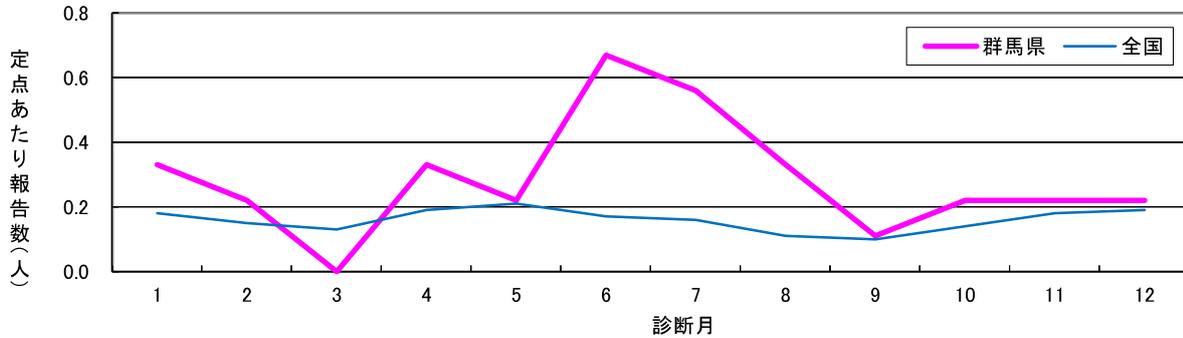
(報告数:人)

		前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	男	13	17	22	6	6	12	8	6	32	122
	女	8	8	5	1	4	8	2	6	12	54
	計	21	25	27	7	10	20	10	12	44	176
定点あたり	男	13.00	17.00	22.00	6.00	6.00	12.00	8.00	6.00	32.00	13.56
	女	8.00	8.00	5.00	1.00	4.00	8.00	2.00	6.00	12.00	6.00
	計	21.00	25.00	27.00	7.00	10.00	20.00	10.00	12.00	44.00	19.56

(2) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

定点からの年間報告数は31人（定点あたり3.44人）でした。〔前年18人（定点あたり2.00人）〕
 年齢群別では、70歳以上（51.6%）で最も多くの報告がありました。
 保健所別の定点あたり報告数は、前橋市（15.00人）が最多で、次いで桐生（6.00人）でした。

月別患者発生状況

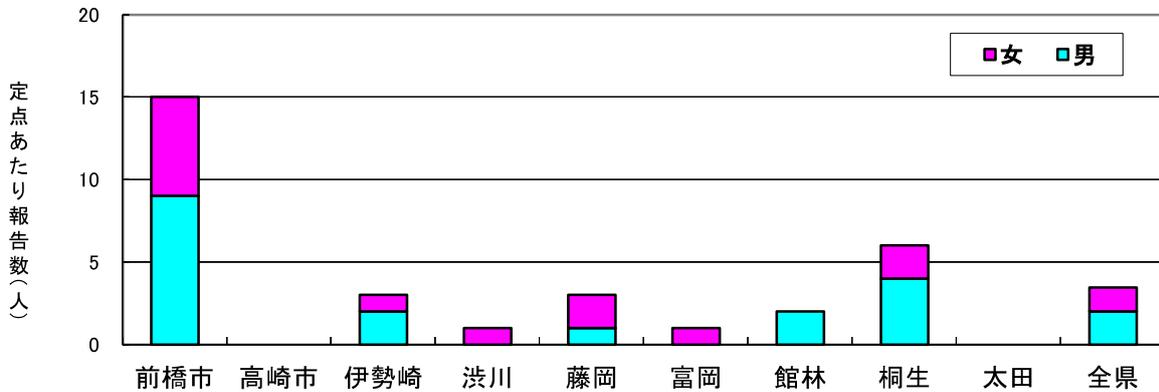


年齢群別患者発生状況 (報告数:人)

年齢群	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
男	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-

年齢群	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	合計
男	-	-	2	1	9	18
女	-	1	-	1	7	13

保健所別患者発生状況



保健所別患者発生状況 (報告数:人)

		前橋市	高崎市	伊勢崎	渋川	藤岡	富岡	館林	桐生	太田	全県
報告数	男	9	-	2	-	1	-	2	4	-	18
	女	6	-	1	1	2	1	-	2	-	13
	計	15	-	3	1	3	1	2	6	-	31
定点あたり	男	9.00	-	2.00	-	1.00	-	2.00	4.00	-	2.00
	女	6.00	-	1.00	1.00	2.00	1.00	-	2.00	-	1.44
	計	15.00	-	3.00	1.00	3.00	1.00	2.00	6.00	-	3.44

(3) 薬剤耐性緑膿菌感染症

定点からの年間報告数は0人でした。〔前年2人（定点あたり0.22人）〕

4 病原体検査情報

(2024年1月～12月)

(1) 一類～四類感染症、五類感染症(全数)、新型インフルエンザ等感染症及びその他の病原体検査

◆ 二類感染症の検体

・ 結核

2024年 112検体

2023年 85検体

2023年の遺伝系統群推定の内訳は、非北京型が28件、北京型Modernが15件、北京型ST25/19が13件、北京型STKが11件、北京型ST3が10件、北京型ST11/26が5件、解析不能が3件でした。

2024年の検体については、引き続き検査を行っています。

◆ 三類感染症の検体

・ 細菌性赤痢: 1検体(1事例)

1検体(1事例)から *Shigella sonnei* が検出されました。

・ 腸管出血性大腸菌感染症

検出状況については、49ページを参照。

・ パラチフス: 1検体(1事例)

1検体(1事例)から *Salmonella Paratyphi A* が検出されました。

◆ 四類感染症の検体

・ A型肝炎: 1検体(1事例)

検出されませんでした。

・ 重症熱性血小板減少症(SFTS)(疑い): 6検体(2事例)

検出されませんでした。

・ エムボックス(疑い): 2検体(1事例)

検出されませんでした。

・ デング熱: 5検体(3事例)

1検体(1事例)からデングウイルス1型、1検体(1事例)からデングウイルス(型別不明)が検出されました。
3検体(1事例)からは検出されませんでした。

◆ 五類感染症(全数)の検体

・ カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症: 29検体(28事例)

3検体(3事例)から分離された細菌において、カルバペネマーゼ遺伝子が検出されました。

内訳は、IMP-1型が2検体(*Klebsiella pneumoniae* 1検体、*Enterobacter cloacae* complex 1検体)、NDM型が1検体(*Escherichia coli*)でした。

その他の26検体(25事例)からはカルバペネマーゼ遺伝子が検出されませんでした。

・ 急性脳炎: 4検体(3事例)

検出されませんでした。

・ **劇症型溶血性レンサ球菌感染症：30検体(29事例)**

22検体(22事例)から *Streptococcus pyogenes*、6検体(5事例)から *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis*、2検体(2事例)から *Streptococcus agalactiae* が検出されました。

Streptococcus pyogenes のT型別の内訳は、TUTが11検体、T1が10検体、T12が1検体でした。

・ **バンコマイシン耐性腸球菌感染症：1検体(1事例)**

検出されませんでした。

・ **麻しん・風しん(疑い)：24検体(9事例)**

麻しんウイルス・風しんウイルス共に検出されませんでした。

◆ **新型インフルエンザ等感染症の検体**

・ **新型コロナウイルス感染症ゲノム解析:267検体**

検出状況については、次ページを参照。

◆ **その他の検体**

・ **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(保菌)：21検体(20事例)**

18検体(17事例)から分離された細菌において、カルバペネマーゼ遺伝子(IMP-1型)が検出されました。

その他の3検体(3事例)からはカルバペネマーゼ遺伝子が検出されませんでした。

・ **サルモネラ症(疑い)：2検体(2事例)**

1検体(1事例)から *Salmonella enterica* subsp. *enterica* (一般サルモネラ)が検出されました。

1検体(1事例)からは検出されませんでした。

・ **国立感染症研究所による行政検査依頼：5検体(5事例)**

1検体(1事例)から *Rickettsia japonica* (日本紅斑熱)、1検体(1事例)から日本脳炎ウイルスが検出されました。

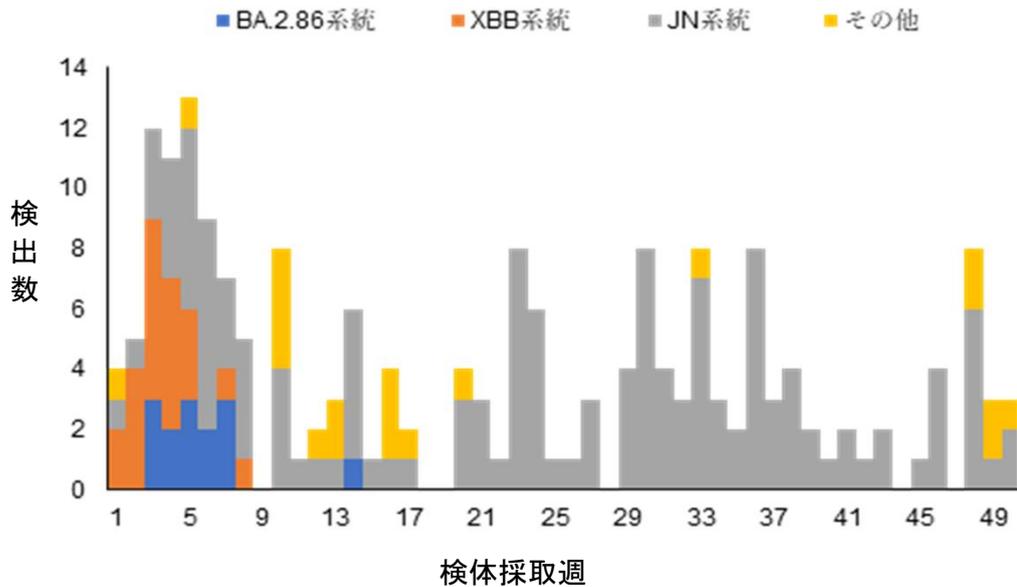
その他、日本紅斑熱 1検体(1事例)、レプトスピラ症 2検体(2事例)の検査依頼がありましたが検出されませんでした。

(2) 群馬県における新型コロナウイルスゲノムサーベイランスによる系列別検出状況

群馬県衛生環境研究所では、国立感染症研究所と共同で新型コロナウイルスのゲノム解析を行っています。2024年第1週から第52週までに検出された新型コロナウイルスの系統の変遷をとりまとめたので報告します。

2024年は、第1週からXBB系統が主流でしたが、第6週以降ではBA.2.86系統の亜系統であるJN系統が主流となりました。JN系統の中では、第8週まではJN.1系統が多く、第20週以降ではJN.1系統の亜系統の中で、スパイクタンパク質にいくつかの変異を有するKP.3系統が多く検出されました。その他の系統としてXDA系統なども検出されましたが主流行株とはなりませんでした。

KP.3系統は、BA.2.86系統の亜系統であるJN.1系統の亜系統であり、スパイクタンパク質にS:F456L、S:Q493E、S:V1104Lの変異を獲得した株であるとされています。ワクチンへの効果に関するデータは少ないですが、JN.1系統よりもワクチン逃避性が高いことが推測されることから継続した監視が必要であると考えられます。



※BA.2.86系統には、JN系統を含まない

図1 新型コロナウイルス系統別検出数

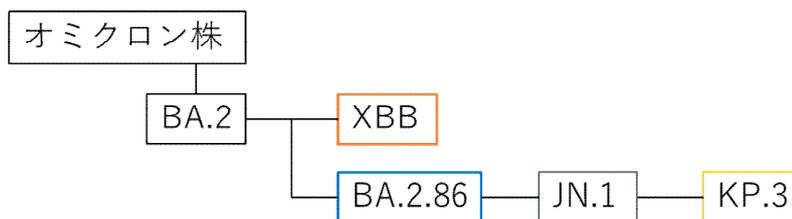


図2 2024年新型コロナウイルスの系統変遷

(3) 五類感染症指定提出機関(病原体定点)からの病原体検査

指定提出機関(病原体定点)から提出された検体について、病原体の同定検査を実施しました。

◆ 各定点から提出された検体

13疾患213検体が提出され、161検体から病原体が検出されました。検出率は75.6%でした。

◆ インフルエンザ/COVID-19定点から提出された検体

・ インフルエンザ：106検体

40検体からインフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)、38検体からインフルエンザウイルスAH1pdm09、5検体からインフルエンザウイルスAH3が検出されました。

◆ 小児科定点から提出された検体

・ RSウイルス感染症：9検体

9検体からRSウイルスが検出されました。

・ 咽頭結膜熱：19検体

13検体からアデノウイルス3型、5検体からアデノウイルス2型、1検体からアデノウイルス1型が検出されました。

・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：16検体

3検体から*Streptococcus pyogenes* TUT、2検体から*Streptococcus pyogenes* T1が検出されました。

・ 感染性胃腸炎：5検体 ※基幹定点においてロタウイルス胃腸炎と診断された場合を含みます。

1検体からアデノウイルス41型が検出されました。

・ 水痘：1検体

1検体から水痘帯状疱疹ウイルスが検出されました。

・ 手足口病：39検体

12検体からコクサッキーウイルスA群6型、各7検体からコクサッキーウイルスA群16型、ライノウイルス、3検体からヒトエンテロウイルス71型、各1検体からコクサッキーウイルスA群6型及びライノウイルス、コクサッキーウイルスA群10型、コクサッキーウイルスA群10型及びライノウイルスが検出されました。

・ 伝染性紅斑：5検体

4検体からヒトパルボウイルスB19が検出されました。

・ 突発性発しん：2検体

検出されませんでした。

・ ヘルパンギーナ：1検体

1検体からコクサッキーウイルスA群10型が検出されました。

・ 流行性耳下腺炎：1検体

検出されませんでした。

◆ 眼科定点から提出された検体

・ 流行性角結膜炎：7検体

各2検体からアデノウイルス3型、アデノウイルス8型、各1検体からアデノウイルス37型、アデノウイルス56型が検出されました。

◆ 基幹定点から提出された検体

・ 無菌性髄膜炎：2検体

検出されませんでした。

感染症発生動向調査月別受付及び検出状況(2024年1月～12月)

臨床診断名	検体受付月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
インフルエンザ (インフルエンザ様 疾患を含む)	件数(人)	30	15	15	8	2	1	2	2	1	0	4	26	106
	インフルエンザウイルスAH1pdm09	6	1					1	2	1		4	23	38
	インフルエンザウイルスAH3	2						1					2	5
	インフルエンザウイルスB(ビクトリア系統)	7	12	11	8	2								40
	検出されず	15	2	4			1						1	23
RSウイルス感染症	件数(人)	0	1	2	2	0	1	0	1	0	0	1	1	9
	RSウイルス		1	2	2		1		1			1	1	9
	検出されず													0
咽頭結膜熱	件数(人)	1	2	2	2	1	2	3	3	2	0	1	0	19
	アデノウイルス1型											1		1
	アデノウイルス2型						1	2	2					5
	アデノウイルス3型	1	2	2	2	1	1	1	1	2				13
	検出されず													0
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	件数(人)	0	0	2	1	3	5	2	0	1	2	0	0	16
	Streptococcus pyogenes T1					1	1							2
	Streptococcus pyogenes TUT						2	1						3
	検出されず			2	1	2	2	1		1	2			11
感染性胃腸炎(※)	件数(人)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	5
	アデノウイルス41型											1		1
水痘	件数(人)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	水痘帯状疱疹ウイルス					1								1
手足口病	件数(人)	1	0	0	2	6	6	3	3	1	12	4	1	39
	コクサッキーウイルスA群6型				2	3	4	2			1			12
	コクサッキーウイルスA群6型、ライノウイルス					1								1
	コクサッキーウイルスA群10型						1							1
	コクサッキーウイルスA群10型、ライノウイルス					1								1
	コクサッキーウイルスA群16型									1	4	1	1	7
	ライノウイルス					1	1				3	2		7
	ヒトエンテロウイルス71型								2		1			3
	検出されず	1						1	1		3	1		7
伝染性紅斑	件数(人)	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	0	5
	ヒトパルボウイルスB19								1	2	1			4
	検出されず											1		1
突発性発しん	件数(人)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	検出されず	1	1											2
ヘルパンギーナ	件数(人)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	コクサッキーウイルスA群10型							1						1
流行性耳下腺炎	件数(人)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	検出されず						1							1
流行性角結膜炎	件数(人)	1	0	1	0	1	0	2	1	0	0	0	1	7
	アデノウイルス3型	1							1					2
	アデノウイルス8型					1							1	2
	アデノウイルス37型							1						1
	アデノウイルス56型			1										1
	検出されず							1						1
無菌性髄膜炎	件数(人)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
	検出されず							1	1					2

※基幹定点においてロタウイルス胃腸炎と診断された場合を含みます。

5 疑似症サーベイランス

感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(平成31年(2019年)4月1日から 一部改正)

(1) 疑似症定点の選定基準

- ア 診療報酬に基づく特定集中治療室管理料(1~4)、小児特定集中治療室管理料及びハイケアユニット入院医療管理料(1~2)の届出をしている医療機関
- イ 感染症法に基づく感染症指定医療機関
 - ・感染症法に基づく第一種感染症指定医療機関
 - ・感染症法に基づく第二種感染症指定医療機関
- ウ マスギャザリング(一定期間に限られた地域において同一目的で集合した多人数の集団)において、疑似症定点として選定することが疑似症発生状況の把握に有用な医療機関(例:大規模なスポーツ競技大会等において、観客や大会運営関係者等が受診する可能性のある医療機関)

(2) 届出基準

発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経学的症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。

(3) 群馬県の報告

報告なし